京城日報

廿二日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 （郵送前金）一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金壹圓三拾錢 ▲二號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話番號 編輯 三四五番 營業 三二六番 一二一四番 振替貯金口座 京城三〇〇番

◎孫內務總長の罷免

徐世昌、王士珍兩氏は二十日黎總統を訪ひ協議の結果孫內務總長を罷免の事に決し二十日命令にて發表したり（北京特電）

◎墺帝の病氣險惡

墺國皇帝フランツ、ヨセフの病氣は其後更に險惡となれりとの報あり（桑港電報）

◎モナスチール陷落と追擊

二十日佛軍騎兵隊は露佛軍一枝隊と共に敵の後備部隊を擊退して終にモナスチールに入れり追擊戰は遲滯なく繼續され居れり（巴里電報）

◎塞國の敵軍の總退却

雅典來電＝敵はモナスチールを失へる後算を亂して總退却を初めたり聯合軍は之を追擊中なり（倫敦電報）

◎中旬外國貿易

出超累計二億八千萬圓

大藏省の調査に係る十一月中旬の外國貿易は輸出三千三百八十四萬圓輸入一千五百九十七萬四千圓にして差引一千七百八十六萬六千圓の輸出超過を示し一月以降の出超累計は之に二億八千八百七十三萬圓に達せり

◎會見顛末報告

（東京特電）

二十一日內閣會議の際寺內首相以下各大臣出席本野外相より就任の挨拶あり曩に歸朝の途次林駐支公使に會見の顛末を報告し其より通常政務に就き協議し正午散會せり（東京特電）

◎博士號授與式

文部省にては來る二十四日左記諸氏に對し頭書の如く博士號授與式を行ふ由（東京特電）

▲論文提出

醫學博士 東京府士族 原 來復
同 茨城縣士族 茂木藏之助
同 東京府士族 瀬川 昌世
同 大分縣士族 青山 徹三
同 大阪府平民 森田 資孝
同 京都府平民 長谷川芳英
同 愛媛縣士族 松井 芳雄
理學博士 千葉縣平民 谷口彌三郎
中野 春房

▲京都帝大總長推薦

法學博士 財部 靜治

◎司法官の異動

二十一日左の如く辭令ありたり（東京特電）

補平壤覆審法院檢事 平壤地方法院檢事 野尻除太郎
補平壤地方法院檢事 海州地方法院檢事 遠藤 裕
補海州地方法院檢事 平壤覆審法院檢事 森 雅太郎

◎來る議會と政府

政府は憲政會が將に來らんとする第三十八議會に於て突擊を期し解散を豫期し居れりとの說あり（東京電報）

◎外務次官居据說

外務次官幣原喜重郎氏は此儘居据り駐露大使には內田康哉子任命せらるべしとの說あり（東京電報）

◎兩案提出疑問

政府は來るべき第三十八議會に東拓法改正案及び選擧法改正案を提出するや否や猶ほ疑問也（東京電報）

◎浦鹽運動委員著京

在浦鹽邦人禁輸令撤廢運動委員三名著京せり（東京電報）

◎關釜聯絡と增船

關釜聯絡貨物輻輳に付鐵道院は貨物船を增加するの計畫中なりと（東京電報）

◎鍋島侯爵渡鮮

侯爵鍋島直映氏は二十二日朝入港の高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎除隊兵釜山通過

朝鮮駐箚第四回除隊兵第七十七聯隊（平壤）人員八百七十名は二十一日午後六時三十六分著臨時列車にて來釜市內各旅館に分宿し二十二日午前八時御用船日運丸に乘船、正午出帆歸還す（釜山特電）

嚴島の紅葉

蘇峰生

人間萬事中々以て、豫定の如くは參らざる也。扨も前便記し了りて、馬關山陽ホテルの一室にて、野田大塊老の驅詞より來るを、待受けたれども。約束の時刻は、過ぎて過ぎても來らす。漸く午前九時五十分發車前に到著。此上は小郡迄同車し、車中にて快談せんと、同人の發議に。それならば寧ろ宮島迄同行しては奈何。さすれば予は一汽車延ばして、同處より午後十一時四十一分の特別急行にて、東上せんと修正案を出し。斯くて急に日程を變改し、相ひ攜へて宮島に下車したるは、午後二時半頃なりき。大塊老の遲著は、大演習の爲めに、汽車の延滯と聞けば、是亦致方なかりし也。

予は昨年八月此地に來遊、又た大正二年七月平福副伯と來遊せり。今回は宛も平福君と宿泊したる、紅葉谷橋向ふの、左岸の離屋に就き、椅子に、腰掛けて眺れば、紅葉は今方さに六分也。本年は何處も紅葉は不出來の方にして、此地も亦た同樣なれども、又た捨て難き風情あり。既に京城に於て、闌殘の紅葉を賞し、今ま此地に於て、尚ほ早の紅葉を賞す。彼は晚きに失し、此は早きに失す。人事意の如くならざる、復た如何ともす可らざる也。但だ此處の幽邃は、如何にも規模小なれども、白沙淺流の邊、苔石奔湍の上、黃々丹々の色は、夕陽に映じ、周圍の蒼松を帶びて、一種自然の光彩を煥發するもの、特に愛す可きを覺ゆ。大塊老とは、本年三月京城以來の對面なれば、往を說き、來を談じて、殆んど日の暮るゝを知らず。予偶ま一詩あり『白頭相對暗相驚。共是卅年湖海情。不說人間窮達事。滿溪紅葉聽泉聲』我等兩人多くの點に於て、同じからざるも、唯だ無藝大食の點に於て、頗る一致する所あり。今晚は例の如く、此の本色を發揮し、頻りに晚餐を催促し。副食物未だ出で揃はざるに、既に三椀の飯を喫し。滿腹の餘、輿に肱を曲て一睡す。偶ま溪を隔てゝ、絃歌の聲を聞く、而して大塊老、未だ起きず。而して予が出立の時刻は、未だ來らず。乃ち消閑の爲め、此文を艸す。今や予が心に掛るものは、唯だ青山判堂門前の双銀杏樹と、庭前數株の楓樹のみ。知らず尚ほ秋錦を餚りて、主人の歸來を待つや否や。

大正五年十一月十四日午後九時前十分
宮島紅葉谷の一室に於て

◎佐賀商業生徒見學

佐賀市立商業學校職員生徒一行二十三名は見學の爲二十二日朝釜山著同十時三十分發列車にて大邱に向ひたるが一行は二十三日午前六時二十六分南大門驛著列車にて入京すべし（釜山特電）

◎總督著任期

長谷川朝鮮總督は十二月二日頃東京出發赴任の途に上る可き旨某所に著電あり途中郷里其他に立寄る筈なれば著任期は確かならざるも多分十日頃となる可し

◎政務總監饗宴

山縣政務總監は二十二日午後六時三十分より小原農商工部長官、藤川平北長官、川上前道長官、秋山外事課長、水口稅務課長、荻田總務局長、有賀關稅課長、田中山林課長、時永總務課長等新轉退任者を朝鮮ホテルに招待晚餐の饗應あり宇佐美內務部長官、松永京畿道長官、國分司法部長官、鈴木土地調査局長、久芳人事課長、遠藤秘書課長等亦た列席す

◎農學校長會議

總督府にては十二月四日より六日まで三日間總督府第二會議室に各道農業學校長會議を開催の事となれり出席者は同校長十五名の外水原農林學校教師高等普通學校農科主任等二十餘名なり

◎統計事務打合

總督府にては先般來統計講習會を開催、統計に關する講習を爲せしが二十二日は午前十時より各部統計主任を第一會議室に召集其の打合會を開けり

◎藤川長官赴任

平安北道長官藤川利三郎氏は二十三日午後九時四十分南大門驛發汽車にて赴任の事となれり

◎土木局長出發

土木局長持地六三郎氏は築港並に土木事業視察の爲め倉橋試補を從へ二十二日朝南大門驛發汽車にて元山及び永興に向け出發せり氏は二十五日夜歸任の豫定なり

◎守田少將北行

豫備陸軍少將守田利遠少佐津久居平吉の兩氏は廿一日午前入港さくら丸にて來釜津久居氏は同十時三十分發北行列車に投じ守田氏は同午後十一時發北行列車にて何れも滿洲熊岳城へ向け出發したり（釜山）

◎高瀬囑託東上

東拓囑託高瀬梅吉氏は二週間の豫定にて二十二日午前八時三十分南大門驛出發東上せり

◎今津技師歸任期

總督府中央試驗所技師今津明氏は目下鎭南浦附近に於ける溫泉所在地につきラジユーム鑛の調査中なるが來る二十五六日頃歸任すべしと

◎入澤部長著任期

京畿道第一部長に轉任したる入澤重麿氏は前號二十四日著とありたるも二十三日午後九時南大門著にて著任することゝなりたりと

◎長官局長等移轉

小原農商工部長官は前石塚長官官舍の修繕成りしより二十二日同官舍に移轉し荻田總務局長も亦た同日前兒玉總務局長官舍に移れるが之れに伴ひ久芳人事課長は前荻田氏の官舍へ吾我事務官は前今津氏居住の官舍跡に何れも同日移轉したり

◎滯貨處分の急問題

內地行朝鮮貨物の厄難

▲應急策の要 南鮮各港の堆貨と船腹不足問題は歐洲戰亂に伴ふ帝國海運界殷賑の餘波が直接急激に吾が半島財界に及ぼし來れるものと見るべく之れが當面の救濟策は朝鮮財界にとり

▲重大問題 たり乃ち朝鮮の地稅一千萬圓中の五割たる五百萬圓は十二月末を以て納期とし其の地主の納稅金は各地共殆んど全部新穀の放賣に依り之れを得るを常とす然るに穀類は各港に堆貨して引續く出廻りを妨げ結局收穫穀類代金撒布を延滯せしめつゝあり勿論各港出廻り穀類中既に時價を以て移出商に賣渡せる物も少なからざれど其の多くは移出商に對する依託的出荷にして其の代金全部の決濟は穀物の處分完了の後ならざる可からず故に現在の如く船腹不足堆貨山積の勢ひを以て年末に押し進まんか各道に於ける地稅五百萬圓は其の收納に大障碍を及ぼすべく延ひて朝鮮

▲總督府歲計に 影響を生じ來らん今日の要は如何にして船腹を見出し殆んど行き詰りの姿にある朝鮮穀類の內地移出疏通方法を執るべきやにあり一說に依れば內地船の廻航困難にして朝鮮郵船の船繰りに大餘裕を生せずんば帆船輸送の途を執るの外なきも之れには危險と時日の大遲延を生ずるに付斯の如き場合歐洲列強にて時々執る所の老朽軍艦の便宜的廻航と其の積荷を求むるも一方法ならんが右は已むを得ざる場合の手段と云ふべく今日の事態夫れ程迄に切迫せるや否やは未だ斷じ難かるべし兎に角堆貨の處分は單に商業上金融上より見るも一般的農民の經濟上より見るも須臾も忽にし難き問題に付其の良好の解決を當局者に希望せざるを得ず云々（某有力者談）

▲海事當局曰く 釜山及び群山兩港を中心とし南鮮各港の堆貨輸送船腹斡旋に就ては此程來當局にも道廳や當業者から色々の衷申陳情が來てゐる、何分新穀放賣期切迫せると穀類の移出と云ふ事は朝鮮によつて得る地稅五百萬圓の納期に財界にとり大問題であるから當局も出來得る限り便宜の方法を執りたいと思つてゐるが遞信局で朝鮮郵船會社に絕對命令權を有せる沿岸命令航路の就航船は戰時の如き國家休戚の場合に非ざれば之れが變更中止は絕對に出來ないのであるから吾々としては朝郵に對し便宜的に其の自由航路乃ち北支那航路浦鹽航路並に元山雄基線の一自由就航船から若干船を繰り合せ其の急を救ふやうに指示する外はない、其の分は各航路の繁閑と朝鮮穀類の移出と云ふ事の輕重緩急を見ればそこに相當船腹——釜山群山の求むる十分の物でなくとも——を見出す事は可能だらうと思ふ其點に付吾々は目下研究を盡してゐるのである唯海運界は目下非常の殷賑期で釜山や群山の商人一部の希望しつゝある如く朝郵命令航路と同樣の低廉運賃を以て會社に輸送を求むるやうな事は今日では不可能だらう、其點は日郵や商船の如き運賃並みでなくとも相當今日の相場に近い運賃を支拂はねばなるまいと思ふ其の內一月に入つて浦鹽が結氷すれば朝鮮の船腹は南鮮出廻り穀類を輸送するに不足なき位裕りを生ずるから自然斯問題も消ゆるだらうが何分年內に穀類の多數量を處分せねばならぬのだから問題解決の厄介なのはそこに生じて來るのである（伊東海事課長談）

▲朝郵は協議中

朝鮮郵船會社にては釜山群山木浦各港商業會議所並に移出業者の要望により停滯穀類の阪神輸送船腹を現在の自由航路より如何にして見出すかに付昨今幹部にて凝議し一方東上中の原田社長との間にも電報の往復を重ねつゝある模樣なるが何分問題は緊急を要するに付會社は兩三日中案を作成して之れを各港輸出業者に示す事となるべく協定成らば可及的速かに其の實行に著手すべしと

◎禁輸問題と鮮銀

朝鮮銀行にては浦鹽禁輸問題の時期方法等に付所報區々なるも何れにせよ近く實現せらるゝものなるを見越し對露輸出品に對する資金の貸出しは特殊の信用を有する會社若くは個人の外之れを停止し居れりと

◎鎭南浦白米露國輸出

先般來貨物停滯の爲め陸續積行白米輸出に一頓挫を來し七月以來空しく註文を逸し來りしが今回新井商店に約六千石の大註文來り長春渡しにて契約締結せられたるが尚續々註文入込む模樣ありて活況を呈し居れり（鎭南浦）

清州より

鯨洋生

清州より啓上、鳥致院を發し、唯今清州著、天氣晴朗、昨國境の朔風に避易したる小生も、南行に從つて寒薄く何よりも結構也。鳥致院を出れば、一直線の坦々たる道路の兩側は、約一里の間は、兩側白楊樹列をなし、樹頭黃色鮮にして、來往の人牛＝此間馬を見ず＝頻繁たり。美湖川の橋を渡りてより、山手に係り、左曲右折、度々路側の勞牛を驚走せしむ。自動車上よりの眺望、清州霜月猶ほ秋氣滿てり。邑內人氣好く、輕鐵問題などは、却々に世況を煽り居れり、其代り例のタングス熱は、影を沒せしものゝ如し。（夕陽に色一入鮮なる大鴨脚樹を窓外に眺めつゝ、二十日午後）

◎新嘗祭獻穀供饌

本年鮮地を代表して新嘗祭獻穀の榮を擔ひたる京畿道富川郡梧柳洞小峰源作氏は仁川神社新嘗祭にも嚴肅なる手續を以て獻穀したるに付き社務所に於ても二十三日御當日に奉奠の祭儀相行ふ可しと（仁川）

◎光州電燈設立認可

大邱電燈會社長小倉武之助氏、鄭在學氏其他數名の有志は過日光州に電燈會社設立の認可申請中なりしが二十日是が認可の指令に接せり小倉氏は兩三日中に光州へ赴き諸準備に著手すべしと（大邱）

◎京城商業總會召集

京城商業會議所にては二十一日午後一時より役員會を開き露領視察中なりし大村友之丞氏の報告ありたるが更に來る二十五六日頃西村副會頭の東京より歸任を待ち臨時總會を開き重ねて大村氏より報告することに決定三時散會せり

新義州

▲高瀬舟と結氷 新義州に根據を構ふる鴨綠江運輸會社所有の高瀬船三十餘隻は毎年結氷季節に先ち孰れも新義州に歸著して越年するを例とするものなるが本年も去る十六日江界を發して歸航の途に就けるを本年最終の歸航船とし同船は同地出發の當夜寄泊せる地點に於て折柄の寒氣に結氷に遭ひ或は其まゝ氷中に閉ぢ籠めらるべきものと覺悟し居たるに其の後二日を經て幸ひに暖氣となり辛ふじて解氷したるを以て大急ぎに歸航中なるが一兩日中に歸著の筈なりと

▲ソギ板製造開始 三井木材部の後援によりて設立せられたる三共製材所は其製材工場の新築竣工し不日其機械の運轉を開始するの運びに至れる由なるが同所にては豫て營林廠に於て行く〳〵は民間の希望者をして其經營に任せしむべく試驗中なりし端切れ利用のソギ板製造を開始することゝなり直ちに其工場の新築を始むると同時に已に內地に向けて是に使用すべき職工二十有餘名の雇備方を依賴しやりたりと

▲鴨綠江上流各地に輸入の食鹽 鴨綠江上流各地に輸入の食鹽は其全部殆んど滿洲貔子窩產にかゝるものにして一年を通じて最も輸入の盛なるは九月以降の漬物季節に入りてよりなるが本年も同月は百三十五萬七千八百八十二斤を輸入したり尚是より前六月以降のものを併記せんに六月七十三萬三千八百二十六斤七月十七萬九千四百八斤八月五十八萬四千三百十二斤にして十月は三十二萬二千五百六十斤なり而して本年の輸入額は六月に於て著しく多額の輸入ありたる以外一般に昨年より增加せるものなりと

仁川

▲鮮人共同墓地新設 鮮人共同墓地は富川郡道禾里に在るも極めて不完全に付き富川郡文鶴面承基里及び官校里所在二萬一千七百五十二坪を鮮人有志より寄附し別に府に於て購入したる者一萬一千九百八十八坪合計三萬三千七百四十坪を以て共同墓地とする計にて差向き本年度は約一萬五千坪を開拓し上下二等の墓地を設備すべく目下仁川府に於て設計中なり因に一家族十坪迄を使用せしむる由

▲和田書記長歸省 仁川商業會議所和田書記長は二十四五日頃郷里水戶に展墓の爲め向ふ二週間の豫定にて歸省する由

▲府協議會召集 仁川府にては二十四日午後二時より府協議會を召集し大正五年度歲出更正豫算の追加更正歲入出追加豫算及び仁川神社敷地其他處分の件に關し諮問する處ある可く中歲入出追加豫算の件は米豆取引所外八十七名の防疫費寄附金三千二十五圓を隔離病舍增築費に充つる事とし仁川神社敷地其の他の件は曩に協議會の諮問を經て土地其他の無償讓與に關し其筋へ許可申請中の處神社敷地中に公園又は公用地を存するは適當ならざる旨通牒に接したるを以て現公園中より神用地二百九十一坪を控除したる宮町二十五番土地五千九百八十三坪の內五千六百九十二坪及び神殿同附屬建物七棟此建坪百一坪七合六勺附屬器具百五十四點祭典基金百六十二圓八十九錢を無償讓與せしむる件等なり

群山

▲輸移出米 群山米穀檢查所に於ける本月一日以降十五日に至る輸移出米檢查數量を聞くに三萬七十八叺にして最近一日の檢米數量は三四千叺に上る輸移出米として既に檢查濟となり船腹不足の爲め埠頭其他に堆積せるもの二萬餘叺の外米檢查停滯米は三四萬叺に達し船舶輸送能力不足の爲め日々停滯米數量が增加するの一方奧地より廻著米は漸次增加し來り益々停滯數量を增し輸移出當業者の困難愈々其度を加ふるに至るべく現に引續く滯貨に耐へずして當地に本店若くは支店を有する日商店今井商店は群山米檢所の出張檢查を經て裡里驛より鐵道便に據り最近五百叺を大阪に輸送し黃登驛よりも同樣五百叺を鐵道便に據り釜山に向け輸送し釜山に於て輸移出檢查を經て大阪に仕向けられたる事實ありと

▲船腹問題 其後米穀輸移出の旺盛期に向ひつゝある群山港の運輸船腹不足の窮狀は既報せる如く當地米穀商組合にて救濟方陳情書を當局に提出すべく起草中なりしが愈々脫稿二十日附を以て府廳經由當局に提出したるが一方大阪商船群山代理店大澤藤十郎氏尼崎汽船群山出張所主任松村氏等は各本社本店に向け臨時船廻航の交涉中にて既に大阪商船は來卅日頃第十四渡津丸（一萬一千叺積）を第一回臨時船として廻航の事に確定し朝鮮郵船群山代理店中柴吉氏は群山商業會議所石井書記長と相携へて上京し朝郵北鮮航路船の廻航を交涉中にありて群山米穀及び回漕當業者は今や各方面に向て船腹補充の目的を達する爲一齊に運動を開始したれば近く米穀貿易當業者等の福音を齎すべく期待せらる

人事消息

▲吉木彌三氏（藥劑課長） 二十三日夜釋王寺方面へ出張
▲岡本遞信局技師 二十一日午後仁川より歸任
▲城京城覆審法院長 同 鳥致院より歸任
▲伊藤軍醫正（憲兵隊司令部附） 廿一日夜鳥致院へ
▲田邊砲兵中佐 廿二日朝出發歸東
▲侍天教徒岡五十九名 廿一日夜沙里院より入京

二度召させ給ふ
朝鮮産葉卷煙草の光榮
岡田總督府技師謹話

總督府東京出張所にては畏き邊りの御內意を畏み大城戸囑托より過般總督府專賣課技師岡田虎輔氏に宛て、本春獻上致せる紙卷煙草は此の際如何程出來し得るやとの問ひ合はせ電報あり、岡田技師は取り敢へず十二月二十日までに二千本を謹製し得可しとの返電を發せるに折り返へし去る二十日付を以て同氏より出來得る丈け著手され度き旨の電報あり、茲に於て

總督府にては急ぎ謹製奉獻す可く

專賣課員は二十一日より其の下準備に著手せり、之れに就き岡田技師の謹話に曰はく、朝鮮産紙卷煙草が既に一度ならず二度までも御用命の榮を擔ふることは世人の熟知する處なるが今回また〳〵御下命を賜へるより拜し奉らするに畏けれど 陛下には餘程思召に適はせ給へるものなる可く洵に光榮の極みにて益々其の品質を精選し優良品を獻上して以て叡慮に副ひ奉らむことを期せざる可からず、今回も謹製する數は二千本にて第二回同樣露西亞風の口付紙卷煙草と爲し參らす可く其の原料は

純朝鮮葉に土耳古式の醱酵法を施し數年間貯藏せるものを使用し又た卷紙は外國製の最上品を用ひ、口紙は東京産にて裝置用のボール箱と共に專賣局より漆納する御料品と同質のものなること總て前回同樣なり而して謹製の上は百本を一ボール箱に詰め清淨なる美濃紙に包みて合計二十箱を杉柾の木箱に納む可し、目下は謹製の準備中なればその完整次第謹製に著手し遲くとも本年末までに獻上の手續きを了はる豫定なるが其の謹製室は從來中樞院內專賣課分室の一間を宛てたるも、成る可く

獨立したる清淨の建物を得たき考へにて詮議し居れり、尤も今回は火急の事とて新築の運びを得ざるは勿論なれど斯く常に大御心に適かせ給ふにつきては是非とも淨地を卜して獨立の建物を設け其處にて將來何時にても御下命次第謹製することゝなさざる可からざる可し

新舊總督を訪ふて
京畿道鮮人有志を代表して挨拶した金基永氏の談

京畿道高陽郡南山町居住實業家金基永氏は此の程京畿道鮮人有志者を代表して東上し寺內前總督に在任中の善政を感謝し併せて長谷川新總督を訪問し歡迎の挨拶を述べたるが氏の談に曰く

私が在京の朝鮮貴族及び其他の有志と相圖り松永京畿

□**道長官の紹介狀** を戴いて東上し東京に著いたのは恰度立太子禮の當日たる十一月三日でありました四日總督府出張所を訪ひ大木戸囑托とも樣々と打合せを爲た上で六日午前寺內前總督を永田町の首相官邸に訪ひ在任中總督が施されたる宏大なる善政を感謝したる處寺內前總督より樣々と御鄭重なる御挨拶を蒙りました

□**其際寺內閣下の** 仰せられるには『予は朝鮮に六年總督として居つたが予は同じ土地に於て同じ職に六年も居つた事は始めてである、故に予に取つては朝鮮は一生を通じて忘れる事は能きぬ、今總督を辭したりと雖も公私共常に朝鮮の爲めに出來得る限りの便利を與へ其の産業の發達及び人民の福利の增進を念として居る故歸鮮の後は右の趣を

□**一般の朝鮮人に** 傳へて吳れよ』と申され宿に歸つて見ました處吏に其の意味の書面も參つて居ました、同日午後長谷川新總督を訪ひ閣下の新たに朝鮮總督に任ぜられたる事は朝鮮人民の擧つて欣喜する處でありまする故一日も早く御著任の程を希ひまする と述べたる處新總督には樣々と朝鮮の近狀などを問はれたる上に

□**開城の人參の事** なども詳しく問はせられ予も著任せば開城見物に一度行くなどと仰せられました

私は八日に東京を發つて十二日に歸つて參りました

警察の猪狩り
〔慶州郡飛西面〕……も遂に取り逃がし翌十四日に至り中……火鉢の傍に置きたるが火薬の爲め破裂せしに據ると……

氷の如き氣流を衝きつゝ
佛國飛行家のミ市襲擊

佛國飛行家ボーシャン大尉は天候險惡なりしにも拘らずボート、マルヌを出發し高空飛行に依りて敵の眼を晦まし氷の如き氣流を物ともせずコルマル、シュワルツ、ワルド等を通過して

▼**終に獨逸の** ミユーニツヒ市に到りて降下し停車場の上空數百呎の高さより爆彈六個を投下せり同大尉は爆彈投下の効を奏せるを見るや逸早く上騰し東南に進路を採りインスルブツクを經て伊太利に入りたり

▼**此の大飛行** は速力平均一時間五十哩にして高度は一萬二千呎乃至一萬三千呎なりき（倫敦電報）

三機翼を列ね 所澤へ

大演習地より姬路に到著したる阪本中尉操縱の第三十四號機、伊庭中尉操縱の第三十五號機、阿部中尉操縱の第三十六號機は二十一日午前七時十五分一齊に姬路練兵場を出發し三機翼を連ねて十時五分相前後して豐橋に著し午後一時二十分豐橋を出發し難なく箱根の險を越ね四時八分三機共無事所澤に歸著せり之にて大演習歸還飛行は無事完了せり（東京特電）

第三海堡を掠め 追濱卒業式
下士の飛行家

追濱航空隊にては二十一日朝上野寺田兩兵曹の卒業式を行へり此日午前八時茂木大尉の操縱するイの第十二號機を先頭に上野兵曹の第五號機寺田兵曹の第十號機は順次離水し三百米突の空に三機雁行して第三海堡の上を掠め遙かに房相半島方面の雲間に機影を沒したるが同十時四十分無事歸著し美事なる成績を以て卒業飛行を終りたるが下士の卒業飛行は之を以て我國の嚆矢とす（東京特電）

◇改正の體格檢査
海軍志願者の福音

今度改正された海軍出身志願者の身體檢査格例は小さくなつたが高等武官、各候補生、學生、學生候補者及び生徒の志願者は身長五尺體重十二貫、胸圍二尺五寸三分、胸廓擴張一寸八分、活量二千八百立方ミリに達せざるものは不合格但し生徒志願者で十七年未滿の時は體重十一貫五百匁、胸圍二尺四寸八分以上で發育の見込あるものは合格とする

下志津原頭の戰機
近衛第一兩師團對抗演習開始
閑院大將宮殿下御馬を進め給ふ

相武の野に於ける近衛第一兩師團の對抗演習は愈々廿一日より開始さる此日朝來空美く晴れ白軍（近衛）は千葉縣八日市場の主力を紅軍（第一師團）は埼玉縣蕨驛の主力を徐々に進め

▲**次第に戰鬪動作** に入り四ツ街道なる統監部は九時三十分統監旗を下志津原に進め千葉町に御滯泊中の閑院大將宮殿下には田中侍從武官川村元帥大迫上原井口の各大將以下の陪觀武官を隨へさせられ午前九時四十分四ツ街道驛御著其れより愛馬に召され下志津原に御成りあり

▲**一戸統監以下の** 出迎を受けさせられ兩軍の進展を仔細に御覽あらせらる此時白軍附の飛行機は千葉町の上空に現はれ一機は統監部の空を翔り空中の偵察をなし早くも兩軍の接觸を思はしめたり十一時過ぐる頃前方の林間に騎兵斥候の勇ましく過ぐるあり次で下志津原の東北一千米突の原頭に兩軍の斥候

▲**五、六騎遭遇する** よと見る間に忽ち戰端起つて野頭の小衝突あり下志津原頭の光景戰機の刻々に迫れるを示せり（東京特電）

平澤貨物列車の衝突後報
損害額約八萬圓

二十一日午前九時平澤驛構內南方踏切に於て貨物列車衝突し重輕傷者二名を出せる慘事は既報の通りなるが今此現場の光景を見るに

▲**朝來濃霧の** 爲殆んど咫尺も辨せざる折柄南行し來れる貨物列車が平澤驛構內に於て貨車の入替中、一方成歡を發せる貨物列車は折柄の濃霧を破りて今や入替を了らんとせる北行機關車に突懸け

▲**一大音響** と共に衝突し貨物車四輛は滿載の貨物と共に粉碎され兩機關車亦大破損を蒙り折柄搭乘作業中の火夫二名は衝突

▲**反動の爲** はね飛ばされ一名は生命覺束なき程の重傷を負ひたるを以て直に平澤醫院に擔ぎ込み應急手當を施したるが今後の經過によりては或は生命を取留め得べきも目下の處疑問なりと

▲**衝突原因** に就ては目下取調中なるも近來稀れなる濃霧の爲め進行中の列車を認むるを得ざりしと謂ひ又はポイントメンの過失と稱し居れり而して本衝突に因る損害は

▲**約八萬圓** に達すべく附近一帶は破損貨車の破片や貨物等散亂し一見凄慘の狀を呈し一時非常の混雜を來せしが衝突が貨物車なりし丈け人命の

▲**損傷少なり** しは不幸中の幸と謂ふべく鐵道局よりは局員及び多數の職工を急派し應急工事を施し衝突箇所の東方に假線路を架造したる爲め同日午後四時發者の南北行混合列車より開通したり

商業學校
生徒の取引所見學

仁川商業專修學校では目形交換所や銀行會社稅關驛等に於ける

◇**實際の商取引** や事務等を生徒に見學せしめつゝ有るが廿一日も本科二年生二十名が米豆取引所立會市場の商場に詰込んで取引狀況を見學した同日本場は恰も大阪の前寄せが十六圓五十八錢より跳七十三四錢と暴騰を受け仁川は先限十二圓六十二錢より三錢と跳ね五十九錢と押し立會毎に人氣動搖して市場の空氣は

◇**頓に緊張して** 居つた爲生徒も興味深く『二カイ！二カイ！三ウリ！三ウリ！』と熱狂的に叫ぶ手振りや五千賣り一萬買つたの激しい取引振を眺めて居つた、一體期米は本の上で公定相場はどうして出來るか買方と賣方の決濟はどう歩みとはどうと敎へられても仲々了解る者ではない、學校では

◇**敎科書の上で** 大體の智識を授けた後市場に引率して帳入値段とは前日後場一切の公定相場と當日前場五節の公定値段を平均した者であるとか二錢三錢二錢二錢と言ふ風に相場が進むのを歩みと言ふと言ふ具合に實地に就いて說明するのであるが生徒に聞いて見ると一度や二度ではカラキリ解らないと言つて居る然し朝鮮には仁川以外の地には

◇**取引所の設置** がないから仁川の商業學校にしては實務上の智識開發には非常な便宜を得て居る理で現に第二回卒業生中には二人迄も米豆取引所に在勤して居る（仁川）

面當の狂言自殺 馬山府

京町一丁目高橋旅館止宿中の永井照雄（三五）と云ふが十九日午後四時頃同館の一室に於て鋭利なる海軍ナイフを以て割腹自殺を企てたるを同館の雇人に遮られ輕微の傷を負ひたる而已にして左したることなかりしが原因は同地本町吉川旅館に奉公し居れる梅子事齋藤てい（三〇）なる女に馴染を重ね居たりしに近頃テイが照雄を袖にする素振あるより其面當に自殺を企てしも出なるが照雄は素行修まらず來鮮以來各地を放浪し數日前にも晉州に於て無錢遊興を爲したる爲め同地警察署に拘留せられしことある由（釜山）

炊事場より出火
平壤鮮銀舍宅出火

二十一日午前三時十分平壤南山町一番地朝鮮銀行社宅構內合宿所（建坪五十坪）炊事場より發火し同家一戸を全燒し其裏手銀行俱樂部に延燒したるも常備消防手、防消防手出動午前四時半鎭火したり同合宿所には銀行員大野傳次郎武藤民二萬田達夫道野太郎富田延之助山中喜久治の六名居住し獨身寄合つて一名の總角を使用し居りたるが同總角が焚火の不始末より大事に至りたるものならんと云ふ幸に當夜は風無く前日來の雨天にて建物に濕氣を帶び建てつまりたる場所柄にも似ず消防の活動と相待ちて延燒少なりしは不幸中の幸なりと云ふ（平壤支局）

屠場の祭り
▽豚の頭に供養の（一綴△）
後生を祈る牛殺し
（氣味の惡い御馳走酒△）

牛や馬や鷄を屠ふるを業とする穢多には親の因果が子に報ひ、牛に酷た兒や馬に似た畸形兒が産れると言はれて居るが

▼**朝鮮の角打** も矢張同じ樣な事を迷信して後生を怖ろしがつて居る、仁川の屠獸場には屠夫が五名定めて居て、一年間に屠殺する牛豚は實に二千頭以上に達するのであるが彼等は明けても暮れても居所の歩みに堪へやらぬ牛の額に

▼**憂ミ鐵槌を** 打ち込んでは腹を挾り肉を割き苦悶輾々たる豚の咽喉に刀を突き込では血を絞り五臟六腑を引摺り出してはウフ！臭いぞ位が關の山で普通の人間ならば竦然として全身冷汗に濡れる位の慘虐を平氣で行つて居る、然し如何に職業として慣れて居るとは謂へ仲間の者に

▼**角が生れた** 兒が生れたとか往生際が惡かつたなどと言ふ事があると寢ざめが惡くて人間らしい惻隱の情や因果觀念が壓へられぬ程强い力を以て湧上つてつく〳〵殺生が厭になる相だ、現に仁川の屠場でも保健組合の管理時代に或る屠夫の女房が

▼**舌の長い兒** を流産した事を竊かに知つた他の屠夫が無情を感じて飴賣りに稼業替をしたが如何に獰惡な性根を有つた男でも斯うした轉る因果の小車に後生迄もまき込まれると感じては罪の深さに怖氣立たざるを得まい、彼等が

▼**年々數千百** の屠獸の冥福を祈らんとて供養をするのも滿更無智の迷信計りでなく神祕的な嚴肅なやう、仁川の屠場では二十三日の夜五名の屠夫と二十餘名の運搬夫が相談の上牛と豚の供養を營む事になつて居るが其の模樣を聞くに

▼**生血滴る牛** の頭と豚の頭を祭壇に祭り壇の上下には五穀を供へ僧侶を聘んで祈禱をさせそれが終ると今度は心の奧に蟠る惡魔を追ひ拂ふ可く濁酒を盛んにあふり、鐘や太鼓で箍拔けに騷ぎ夜を徹して幾千百の

▼**牛豚の亡靈** を慰めるのである私な此の時は是非府の役人樣にも來て貰ひたいと案內をして來たが馬賊のする樣な安酒で叶呑んだ酒で醉へぬとあつて何れも屠獸場關係者の折角の好意に背くとの事（仁川）

仁川會第三回例會

曾て仁川に居住せるものにして京城へ轉住又は轉任せる諸氏によりて去る三月中喜久家に於て初めて仁川會を開催したるが二回は仁川にて開催し仁川在住者と會して舊交を溫め兩地の連絡を取り双方に幹事を設けて開催地を交互することゝせしがその第三回を二十三日午前十時より旭町白水に於て開催するよし希望者は當番幹事足立瀧二郎權藤四郎新井虎太郎石川秀之助喜多宗一の諸氏の內へ申込まれたしと

鐵道靑年講演會

龍山鐵道靑年會に於ては本二十二日午後七時より中岡默堂氏の通俗講演會を開催すべしと云ふ演題左の如し

一「老驛長」 一「西鄕南洲と八百熊」

讀者文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）

▽一口噺

甲『昨夜うちへ泥棒が這入たが何も取らないで逃げたヨ』乙『餘程正直な奴だつたと見ゐるネ』（一等） 龍山元町こまや方 岡本小草子

▲大正六年の日記が盛んに賣れるのを見た與太『此奴絲じや、來春は値上げするだらう』 龍山 山家 呑公

▲江戸ッ子『どうでい 東京相撲にや叶はれいだらう』負けぬ氣の大阪氓『何を云ひなはるか わざ〳〵東京から來たさかいに花を持たせたのや』 錦州 松月生

▲九州の大演習で飛行機の飛ぶのを見た田吾作『見た事のれぬ鳥だ 捕へて動物園に出すべい』 東鐵舘 藤庭

▲イルミチイションを見てる人が『此は何と云ふ物ですか』傍に居る人『イルミチイションです』或人『まるで電氣の樣ですね』 島鼓院 野宮生

▣募集規程 ▲用紙は端書又は四同の洋紙一枚毎に紙七の兩側及び……
▣課題及び募集規程は欄外にあり

明治公債株式會社 社員募集

京城黃金町	朝鮮支部
同所	朝鮮外事部
釜山幸町	釜山出張所
太田榮町	太田出張所
群山闍町	群山出張所
清津敷島町	清津出張所
平壤本町	平壤出張所
元山仲町	元山出張所
大邱三笠町	大邱出張所
木浦大成洞	木浦派出所
咸興大和町	咸興派出所

萬病感應丸
目まい 立ぐらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥
登録商標
大阪 本舖 正野法橋玄三 江州
販賣店は全國有名各藥店

小生今回平安北道へ轉任を被命明二十三日出發可致候に付拜趨の上御暇乞可仕の處忽卒の際不悪不本意缺禮致候付不悪御海容被下度略儀以紙上御斷申上候
十一月廿二日 藤川利三郎

信用ある東京三金の特賣
ボックス製長靴 長さ一尺三寸 金四圓八拾錢 一尺五寸 金五圓五拾錢
ボックス革製編上 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般官用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す
最新目錄無代進呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇番 振替東京一七一三番

鎧橋病院
東京日本橋區茅場町 よろひ橋ぎは
婦人科 產科 院長 大石貞夫
外科 泌尿科 皮膚科 科長 南部繁
小兒科 內科 科長 小林靖
電話浪花 長六八五番 五一九五番

長壽靈品は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇四番
滋養、健康の保持に「荒井の牛乳」

品質と價格で大評判
壯健なる身体を得るには今直ぐ御使用あれ
製造元 三田土ゴム製造合名會社
發賣元 大阪南區 飯田商店

期米 大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我商店
登錄略號 オサカソカ

眼鏡
米國製金張玉付 甲三圓五十錢 乙二圓五十錢
九金細ツル 六圓五十錢
九金一匁三分 八圓
十八金細ツル 八圓七十錢
十八金一匁七分 十一圓六十錢
二十金一匁六分 十三圓
二十二金二匁 十五圓
銀緣 一圓三十錢以上二圓五十錢迄
赤銅無地 八十錢以上二圓五十錢迄
鐵金次 二圓五十錢以上五圓迄
本ニッケル
凹凸平 各種 米國特製 上玉 六十錢 獨逸 上玉 一圓
メニスカス玉 三圓
クリ山玉
サック類 十錢以上一圓迄
各地方より御注文の節は代金引替にて直ちに送附申上候但送料實費
各眼科病院指定眼鏡製作
京城本町二丁目郵便局前 中村眼鏡店 電話千百十七番 振替京城三百六番

質
京城黃金町二丁目 永樂町（停留所北入） 堀佐營業所 電話六三九番

桃山の乃木神社でも
神前結婚―雌蝶雄蝶の榮に

十一月は俗に婚禮月といふ位諸所に婚禮が行はれるが桃山の乃木神社でも希望の申込さへあれば何時でも神前結婚を取扱ふことになつた、扨てその神前結婚は何んな風に運ばれるかといふに先づ式場の拜殿には正面に神饌案を設け少し下つて祭主の祝詞の座、盃臺

▽蝶酌人の誓詞 の座を置き盃臺の右の端から長柄の雌蝶三寶に乘せた盃、同じく長熨斗左に雄蝶といふ工合に配べ神饌案に向つて右の方にては祓戸、神饌臺、玉串臺を置き其の間に更に一案を設けて親族の盃、婿の膳、嫁の膳を並べ拜殿の左側には祭員席、樂人席、それから拜殿を這入つた處の西に婿と婿方の席、東に嫁と嫁方の席、兩方の席の折れ曲つた處に媒介人の席酌人の席といふ順序を定め、さて嫁は休憩所に充てられた社務所から

▽婿方は滿洲舘 から繰込んで設けの席につくと祭員の一人が起つて神饌から玉串、盃臺、祭員、婿方の親族、嫁、嫁方の親族、媒介人から酌人迄一通り清祓が濟むと祭主が祝詞を奏し媒介人が誓ひの詞を讀み上げ酌人が盃臺に進んで雄蝶と雌蝶を取上げ婿御寮と花嫁御が三々九度の盃を取交して茲に目出度四海波靜かに式を終るので、式が終ると花嫁は花婿の隣に席を更へ兩方の親族が上席に入れ交つて親類のかための盃を取交して双方萬々歳の聲に退散することになつてゐる（大阪）

□黒松が不足だ
百五十萬本の注文

清州郡廳では數日前明年度郡内に植樹の二年生黒松百五十萬本の購入を發表したが全鮮の苗木商人の所有數全部を蒐集するも尚且所用數に達しないとのことである僅か清州一郡の注文にして然りとすれば忠北各郡の注文

□一時に發表 せられたならば驚くべき數に上るであらう、然らば此大需要を滿たすには全鮮の苗木商人は如何なる方法に出るであらうか現に此の發表によりて一割五分見當の騰貴を來した苗木枝場によりても苗木業者の内容の貧弱なこと不用意の樣を遺憾なく暴露して居る當路の一人は語つて曰く『近年當局の殖林思想の

□發達普及し たことは爭はれぬ事實である忠淸北道の如きも鈴木前道長官が在任五箇年間に於て熱心に殖林の必要を鼓吹し三十箇年繼續の大計畫の下に着々と施設を進められた結果鮮人も爾三年間内に於て驚く程繁茂し赭山變じて靑色鮮たる林相を呈するを目睹して最も痛切に殖林の有利と必要を會得し來たので一兩年來競ふて國有林野の

□貸付出願を なし殖樹する有樣となつて今日にては既に國有の無出願地は殆んど無い位に進歩した彼等の多くは面洞里等に共同經營の下に苗木仕立をおこなふて居るが今後斯業の發達に伴ふて今回清州郡の發表したるが如き大規模の共同購入は屢々行はれることであらう然れば在鮮の苗木商人たるものは道般の事情を攻究して今少しく自家の業に忠實にして大規模の經營が願ひたいものであると云々

●記念會堂建堂式

京城美以教會が御大典記念として記念禮拜堂建築を計畫し旭町一丁目に於て工事中なりしが同工事は本月中を以て竣工すべきにより來る十二月十日建堂式を行ふ筈にて目下其準備中なり同會堂は地下室共三層の煉瓦建にして地代共約二萬圓を投じたるものなり落成の上は普通禮拜の外に夜學校、日曜學校、幼稚園等を經營する豫定なりと

△會のいろ/\▽

○東京外國語學校校友會 東京外國語學校朝鮮校友會にては來る二十五日午後五時より京城ホテルに於て秋期大會を開催する由

●高女音樂會

京城公立高等女學校にては來る二十五日午前九時より校内にて音樂會を開會し生徒の音樂及び四年生の歌劇『どんぶらこ』等もありと

●聖公會の慈善市

南米倉町の京城聖公會にては元同教會の監督たりし故ターナー氏の記念會堂建築資金を得んため二十三日午前十時より同教會々舘に於て慈善市を開催することゝなりたり出品は約六百點にして席上之を即賣する由にて殘品ある場合は二十四日も開催すべく何人にても多數來會を歡迎する由

神社とお寺と教會

○日本眼寺（南山町） 二十四日午後七時より土曜講話あり
○護國寺（旭町三） 二十三日午後七時より正心講の月例説教あり
○曹溪宗別院（若草町） 二十四日午後七時より地藏尊縁日につき法要説教あり

たいどころ

◁ばら魚田 ばらを三枚におろし二寸五分位に切り身にして醬油につけ込み（微）別に味噌を裏ごしにかけたるを小鍋に入れ百匁につき玉子一個の割合にてわり込みよくまぜ砂糖とだしとを加へて火にかけよく煉りさまし置く前の切り身を串に刺して中火にかけ焼け通りし時に煉りみそをぬり一寸あぶりて皿に盛る（青木はつ子）

長春夜話
◇紅鬍子（二） 古道生

■知縣を捕 へた馬賊は鉄二萬元と洋銀一百元は無論劉の腹へ移つたが、彼はこんなことで折角の捕虜を放つはずはない、孫を高手小手にふんじばつて『汝若し生きて歸らんと欲せば露國式小銃六十挺拳銃四十挺之に副する彈藥六萬發及び洋銀一萬元を汝の手で提出せよ』と命じた同時に孫知事の隨員一名を放つて之を縣衙門に報告せしめた夫れから大騷ぎになつて吉林の將軍孟恩遠は騎兵二百名を急派して之を追撃せしめやうとした無論追撃どころではない、結局

■劉の申分 も内々で聴いてやることにして表面は彼れ賊軍官軍の威風を望んで退散したといふことにとりつくろつて解決したことがあつた、これ等は近年に珍しい此地方での大襲撃な掠奪であつて集團的勢力を有する紅鬍子の例である然るに集團的勢力を有せざるもの即ち單獨若くは數人の團體で以て小いながら掠奪を任事として居る馬賊が甚だ多い、日本人で鐵道沿線を離れた田舍へ賣藥店を出して居る者などは殆んど絶えず此の賊に襲はれて居る、これ等の小賊も亦馬賊である滿洲で發刊する新聞を讀む人は日々この馬賊記事を散見して居る筈である、つい數週間前にも長春は新市街のまんなかで西洋人夫婦が殺されたが十數日以前には窰門といふ處で

■日本婦人 がやられたといふやうな譯であつて、そして此の馬賊は日本のとは流儀がちがつて居つて日本の賊は先づ金品を奪はんとして、それを發見せられるか又は對手が抵抗した時に初めて殺傷を生ずるのを常とするのであるが滿洲の馬賊は先づ人を殺し然る後に金品を奪ふのであるから、實に危險である、この馬賊に對する支那警察力は、殆んど用を成して居らない即ち大なる馬賊に對しては、對大團子の例の如く討伐力が缺いて居るし、小なる馬賊に對しては殆んど捜索能力を有して居らぬ、況や馬賊を討伐すべき巡警や兵士それ自身が、何時馬賊に變じないとも限らない現に去る九月三十日しかも白晝に於て長春城内の大道で吉林から

■宗社黨を 討伐に派遣されて歸還した兵隊が、給料の不渡を憤つて、掠奪的暴擧を起した、之が城道路上に露店を張つて錢舖を營んでなつたものは殆んどその資本を奪はれたし、不幸にも彼等暴徒の放つた附火にその家を燒かれた商家も數戸あつた、現に日本人との協同でやつてゐる某商店は現錢數千吊を掠められて小燒となつた、然し此時は在長春の混成旅團の兵が之に對取の態度を採つたので、先づ〳〵大事に至らずしてすんだが、暴兵は翌日悠然として

■吉長鐵道 に乘じて吉林に歸つた（尤もその中の極く少數は所謂せられた）これ等は最近の實例であつて、兵士が馬賊と或る共通の暴戻心を持して居る證據である紅鬍子の猖獗は、書き立てれば一卷の書を以てするも尚ほ且つその詳を悉くすことができないのであるが、大體現状は如上の次第で了解せらるゝであらう、僕この滿洲馬賊がかくの如く跳梁跋扈してなるに就て、我邦はその結果に關して大に考へねばならぬのである

商況

債券現物特電（東京）
二十一日出來値段（前日との比較）
東洋拓殖 八一、〇〇
京城電氣
朝鮮銀行
朝鮮瓦斯
南滿鐵道 一八一、五〇

公債直取引特電（東京）
二十二日出値段（前日との比較）
五分特別
五分利
一回四分
二回五分 八四、二〇
甲 八三、〇〇

深川在米特電
二十二日現在高
朝鮮米 一四、七八九
臺灣米 七四、五三五
内地米 一〇七五、八三五

東京期米特電
二十二日前場 一月限
寄付 七、四〇
高値 七、五〇
安値 七、四〇
止め 七、五四

大阪期米特電
二十二日前場
寄付 六、二三
當限 六、五六
中限 七、〇四
先限 止め

下關期米特電
二十二日前場 時勢買高

雜報

砂糖更に高し
砂糖は二十一日内地相場更に三十錢高の人氣に接し京仁兩市場共に昨來一層人氣を高め來れり今朝は問屋間の大口取引にて

臺灣糖の十二圓
九十錢 さいへば當部は十三圓を越すべく大日本糖

又ゼーの十三圓十錢乃至二十錢を唱へ
れつゝあり歳暮前には年末需要を控へ居れば現在の荷動き如何によつては

一段の高値を見越されつゝあり

染料赤色暴騰乎
染料は目下一般の賣行き歩々しからざるも氣配は依然として强硬なり中にもベンゾ－ル及洋紅等は益々現品缺乏を告げ來れると共に價格も次第に昂騰を續け居れり

ベンゾール
は目下の市中相場百五十三五圓の高値を示し今や内地より新に輸入するに就ては荷嵩元価百九十圓近かくに當るなれば此上騰貴必至の形勢にて一層の困難を感じ居れり

乃至八十圓迄の高値を實現
とする就勢の百七十圓

石油値上げ
一時暴騰し居りたる石油は荷動き不振の爲め値下げの下地となりしが目下市中相場は

五錢の値上
…の人氣は之が爲め…今や需要の盛期に入り相當活氣を帶びたる市況なり

水飴昂騰す
米の需要好調にして原料粉の暴騰に依り製造業者は比較…近年にない暴昂を呈しつゝあり

引上げ七十錢方
水飴は製糖品一罐に付最近七十錢方の値上を見…今一罐十錢高を呈するかも知れず

一罐十錢高

角砂糖は氷砂糖
角砂糖は…氷砂糖の値上を見…

[illegible]

●粉類は騰貴
粉類は原料により之を原料とする各種類は何れも最近に各

一五錢方騰貴

下關相場

▲朝鮮白米も不味 依然賣り急ぎ物現はれずと雖も何分内地期米の不勢にあると共に出廻りあり行き鈍なる爲め買れ行きの進まざる爲め買れかれず之れか小口の出來値は左の通りにて入着したるは三百七十八叺なり

▲大豆は矢張軟調 本品は別に投げ物的の賣り物現はれずと雖も兎角產地の人氣不勢にあると共に出廻りもしの折柄とて自然買氣の進まざるため相變らず市況軟弱を極め太田物百叺口は十一圓七十錢に手合せられ其他南々の出來値は左の通りにて其後の輸入は全州產百二十叺及公州產二百二十俵宜川物四百十二叺公州物二百六叺太田物二百四十六叺十八叺等なり

期米
仁川米豆取引所仲買人
（平）平田商店
電話 一五八 長一五九 電略（ヒサ）（ヒ）

賣買

▲小豆は依然不捌 本品は其後中國產五十俵の廻着に過ぎざるも産地より別に發報なく何分値頃よりして急ぎ物あらずと雖も何分値頃よりして相變らず投身買氣進まずして出廻りの不捌の出來値は左の如し

△朝鮮一等白米（扇川） 十五圓九十錢
△同二等白米（當用） 十五圓五十錢
△同 十一圓七十錢
△宜川大豆 十一圓七十五錢
△洗川大豆 十一圓八十錢
△優錦大豆 十一圓七十錢
△太田大豆（現日） 十一圓七十錢

京城正米

一兩日來續いて安價徐を呈せし正米市況も期米高と其後白米移出口の引合ひ續々入込み來れる一方資本の是ちバラなる當氣配は聊か强襲振を呈じ來れり

南大門の廻穀

平澤白米六七叺 水原白米二三叺
平澤玄米六七叺 平澤白米四八叺
天安籾 二八叺 仁川玄米三〇叺
金村穀米大豆四四叺 天安玄米 二叺
大邱 二六叺 砂里院白二八叺
仁川籾 一〇一叺 新義州大豆五叺
新義州米 一四叺 新安州初籾二三叺
京浦籾白 一八叺 永同白米二八叺

仁川現物市場

▲籾入津手餘俵 籾は引續き大阪期米高に連れ强人氣を唱へ居り
▲正米入津少なし 氣配は依然高鎬にて
▲大豆入津四五百叺 氣配保合

因に協合相場表當館出来値段は標準に籾叺共約五十錢切を要すると

釜山市場 廿一日

▲正米（又々十錢安） 強氣品は日々增加の傾向にして從て當市場賣物も少なからず本邦定期米も仲力鈍調にして小往來を持續しつゝあり買入は依然精米所筋の買入ある何様内地

三巳仲買店
京城米豆取引所仲買人
電話（長三六八）京城振替二〇〇

出米不足なる折柄とて買人の附値は安く市場にも買氣なく賣人も依然として强硬なる勢なく賣らんとすれば五錢乃至十錢方は値切らる有様なれば無理に賣る人なく今朝も相場は一寸小崩きものゝ如し
▲大豆 依然として賣物多き商内ありしが一千俵の商内ありて本邦米相場は一寸小崩きもの

仁川期米

▲二十二日前場
四十九圓九十錢 大阪天候 晴
前寄十四圓大阪
天前寄十七圓〇四

利仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話 長九〇五番
電信略號 ヱヱ
一六二五 増殿

▲㊦の優勢賣 各四千餘石⑲⑳各千餘石等にて他は小口商内であつた

▲要大に買ふ 前場の寄りたる玉數無慮一萬七千餘石に上りたる事一面千餘石の賣ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲㊇能く買ふ 前場同店より買たる玉數六千餘石に上りたりとの事一面四千餘石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲㊂能く買ふ 店より買たる玉數四千餘石に上りたりとの事一面千餘石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲㋑能く買ふ 前場同店より買たる玉數四千餘石に上りたりとの事一面千餘石の賣ありたるも注目を惹いたり

▲㊎能く買ふ 店より前場同店より買たる玉數三千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲㊀の商内 前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲鞘益擴大す 比處大阪は大いに昂騰を報じ居るに反し當地は存外弱く此は當後一大阪の昂騰を報じたるか今日前大阪の暴落を報じたるにも拘らず前場も一大新高値を見せ居るなり前場新規…

丁鞘益擴大
丁となりたる中の如何にも不思議に支へ内地の形勢より見れば所かも思はず

終に四百四十五

米は如何に買の餘地

▲相場依然目先の小相場十七圓臺

下關相場 市場零聞

●錢と昨止より三錢高の入電二節十六圓九十六錢と安移
り當地二回九十二圓六十四錢と云ふ大阪の三節十二圓六十錢と三錢安に寄付五錢高く引五錢高先月中十二圓より三錢引…

一錢四節十七圓〇
二節十五錢と

暴騰を移して

▲二十二日前場 當限⑱十二圓九十錢平均値段九十一錢出来高七百石
△中限⑬十二圓六十錢 二圓七十七錢七十九錢⑮七十錢一錢五錢七十錢
△先限⑬十二圓二十錢六十九錢七十錢七十錢

大阪の暴騰正米
大阪の暴騰正米を伸び況むやら

依然伸び悩む
天候 發天大阪の小高き入電を今日も跡安を受けて十二圓六十四錢と寄付け十二圓四十錢迄落ちたりしが…

界の高氣配に賣物續出し
新規に賣物續出し
前場の手振
伸び悩み

[illegible]

▲賣は單に値惚れ
…

▲常先鞘寄せ
…

●籾の入津多きと出盛期

牽制的賣物に壓迫されて

作用に先限は人氣の如何に展開するや或は當中順鞘となるや

仁川米豆取引所
二十二日の一月限

	前場
寄付	十二圓六十四錢
高値	十二圓七十二錢
安値	十二圓七十錢
止め	十二圓六十四錢
出來高	三萬八千四百石

平均値段	
一節	十二圓六十五錢
二節	十二圓七十錢
三節	十二圓七十錢
四節	十二圓七十錢
五節	十二圓七十錢

賣買取組高
十一月限 一萬六百五十石
十二月限 一千石
一月限 八萬五千九百石

二十一日後場 前日と比較
一二、六一 三高
一二、六七 五高
一二、六一 三高
一二、七一 三高

北濱だより

郵船は其の資産狀態が資本金の十數倍の七割以上に達し居る上に半期間に拂込み以上に富る純益を舉げて居るといふ以上に今後は徐々收益の增加すべきを見越されて今日に於て既に千八百萬圓以上と云へる大繰越金を有して居るならば資本金の二倍以上にも達するのだから此の繰越金は…

浪界の驍將
吉田一若來る!!!

雲右逝き奈良丸稍々老境に近つくの今日唯り浪界に名聲を擅にする者は吉田一若なり其の調節妙音は實に奈良丸をして舌を捲かしめたる所にして大阪其他に於ける丈が聲望は旭日昇天の慨あり今回幸ひに丈が寸間を得て滿鮮遊覽の序を强請し特に當舘に出演し初御目見得を爲すことゝなれり乞ふ大方各位是非共一夕の御來聽を賜らんことを伏て奉希候 敬具

本町一丁目 有樂館

▼旅行ふ仁丹

金言
智者は既往を推して將來を知る（ソフラクリス）

イツモ愉快

結核專門
古賀病院

日鮮人向
漆器指物
家具膳椀
重箱鏡臺
卸
㊄
朝鮮京城壽町
丸五漆器店
電話一二七四番
京城振替三五九番

秋空晴れて
野に山に 樂しき
菓子は 唯一つ
森永 ミルクキャラメル
煙草代用

大二十個 小十個

當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏 藥學博士岡田泰吉氏兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す

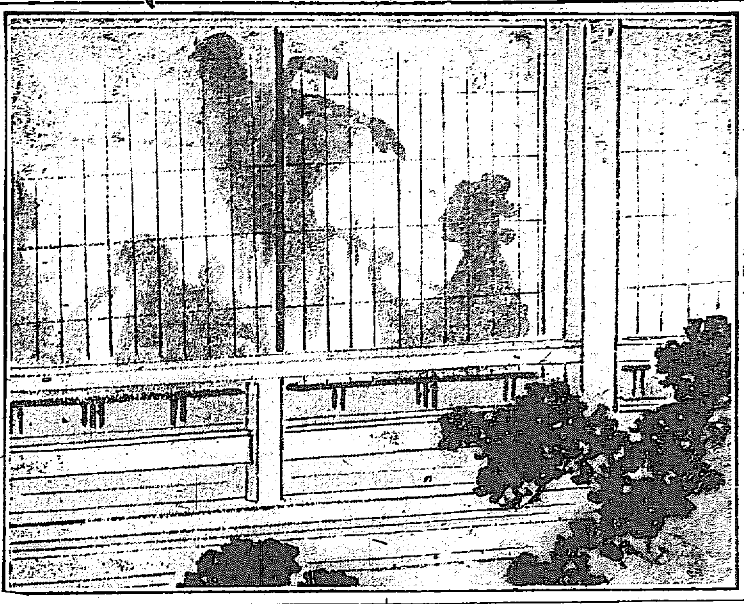
5―20 森永製菓株式會社 東京

宮本武藏

第二百二十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

うに膏や萬能膏の効驗より親孝行は何につけても、孝子幸作の孝道を感じて大枝五兩の金子を恵みまして、曉雲二天と共に吉田村を立出で雪道を踏んで秋田の城下へ入つて參りました、恰當日の暮方城下入口の秋田屋といふ旅籠屋の店先へ參り 曉『ハイ御免なさい、二人であるが今晩の宿を頼みます』女『入らつしやいまし お早いお着きさまで、お旅籠は上旅籠にいたしますか並にいたしませうか 曉『姐さん並といふと 女『左様でございます、並と申しますとお商人衆と同じでございまして 曉『ハアそんなら商人並にして貰ひませう』女『宜しうございます、お上り遊ばせ』足装束を脱つて足を洗ひ女中の案内に從つて下座敷へ通つて見ると四五人の商人が居ります 女『此方でございます、皆さんお相客でございますから宜しく願ひます ○『さア何うぞ此方へ 曉『是は皆さんお早うございます、何うか今晩はお相宿を願ひます ○『イヤ結構で、何でも大勢の方が賑かで宜うございます、私共は旅商人でございますが貴下方は何御商賣で 曉『左様で、儒者に畫工でございます ○『ヘエ——畫の先生ですか、是まで諸方をお歩きになつたでせうな 曉『可なり諸方を歩きました ○『何ぞ面白い話しを伺いたいもので』と此の旅籠屋に泊り合して懇意になり種々話し合て見ると面白い譯のものでございます、其内に代り〳〵に湯に入つて來る、酒を飲む者もあれば飯を喰ふ者もある、中には勞れて寢る者もあるが、曉雲は商人と何か話しをして居りまするると、二階の方で大勢の酒宴でもあるかワア〳〵といふ聲がする、其内に藝妓でも來たのか三味線なぞを彈き始めた樣子、騒々しくて睡られないから客人は愚痴を云つて ○『オイ姐さん、俺達は一日稼業をして勞れて居る、それに明日は早く起て出懸けやうと思ふのだが、奥二階の方で大一座の酒宴が三味線なぞを彈て騒擾しくつて睡られやアしねえ、何だね彼は、何かあるのかね 女『誠にお氣の毒さまでございますが、御城内の旦那方でございまして、藝妓を伴れて手前共へお遊びに入らしつたので ○『料理屋じやアあるめえし旅籠屋へ藝妓を伴れて來る奴も無えもんだ 女『それが何でございます、其の旦那方が手前共を御贔屓になすつて毎度お出下さるので ○『ヘエー、城内の旦那方じやア何うすることも出來ねえ、然し迷惑なものだ』と云ふのを傍に聞いて居た曉雲が 曉『姐さん、其の旦那方といふのは城内で何役を勤めて居る人だね 女『左様でございます、郡方のお役人樣で、栗畑喜太郎、瀧口藤助、山田逸平と被仰る御三方でございます』と聞いて曉雲が 曉『栗畑、瀧口山田の三人とあれば豫て幸作より聞いたが幸右衞門を召捕て非道にも牢獄へ打込んだ奴だな』と思ひましたから 曉『ハヽア姐さん、其の三人が來て飲んで居るのかね 女『左様でございます』と云つて女中は引退る 曉雲二天も其處へ寢んだが如何にも騒がしくて寢られない、曉雲は圊へ度々參りましたが今圊へ行つて縁側の處へ出て來ると、二階から下りて來た山田逸平が 逸『誰だ其處へ來たのは 曉『ハイ私で』逸『何に私だ、誰だ貴樣は途に見慣れぬ奴だ 曉『今晩此方へ泊りました者でございます 逸『手前達が入る圊は向ふの方だ、是は我々が入る圊で貴樣達が入る處ではない、それを無斷で入るとは不埒な奴だ 曉『ヘエ、お言葉でございますが、手前も當家へ泊り合した客で此の圊へ入つて惡いといふことはありますまい 逸『入つて惡いから惡いと云ふのだ、口のへらぬ奴だ 曉『貴下こそ判らないお方だ 逸『武士に對つて判らないとは怪しからんことを云ふ奴だ今一言云ふたら免さぬぞ 曉『免さなければ何うするのだ 逸『汝不禮者』と拳を固て打つて來るのを體をヒラリと交して曉雲は逸平の小手を捻上げた。



婦人科 產科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一三〇一番

坊が喜ぶ 木村屋パンに添へてやりましよキヤラメルを (京城明治町 電二八七〇)

暦

十一月廿四日九星 舊十月廿九日乙未 本命二黒坤 滿 友引

▲二黒 氣怯する事有る日注意新事見合 西方は吉暗劍坤 ▲三碧 願にさわる事有る日 新事手控常の事は吉 又爭を防ぐべし ▲四緑 平常の日物の準備など爲は吉 新事手控諸事間違は妨なし ▲五黄 頓狂な事有日新事手控諸事は吉 女子は行儀を守るべし ▲六白 福徳の日轉居入學金談名弘求職建築移轉 鐵山業を起す等萬吉 ▲七赤 氣配よき日轉居入學金談名弘求職建前婚禮定期業等皆吉 物に勝の日 ▲八白 思はれ迷ふの事有日新事手控諸事土工は妨なし ▲九紫 効の日轉居旅行入學名弘求職造船嫁娶取製藥等萬吉 ▲一白 憎氣のさす事有日 新事手控諸事は吉保證迷帯等せぬがよし

十一月廿五日九星 舊十一月朔日 丙寅 本命三碧、東平、大安

▲三碧 逆摂を喚ふ事有る日 謹で新事見合 坤の方は吉暗劍東 ▲四緑 陷開敢日轉居開業旅名弘求職造船婚禮釀造薬等萬吉 ▲五黄 心配して効なき事有る日新事手控諸事は吉一切の事せぬがよし ▲六白 くさ〳〵する事有る日新事手控諸事は吉 女子は行儀を守るべし ▲七赤 粹され損の事有る日新事手控諸事は吉女子は口車に乘らぬよふ用心の事 ▲八白 商用行きを生ぜんさす 新事手控諸事は吉買物に用心せらるべし ▲九紫 めでたき日轉居旅行求職名弘金件出頭婚禮轉居開業入學名弘金件婚禮建設入組の和解計る等萬吉 ▲二黒 せわ事の爲に大に散財せんとす新事手控諸事掛を慎みるは吉

演藝案内

浪花館 明治町 電話二六〇

○生粋の江戸落語三遊社幹部朝寝坊むらく改め橋本川柳一座來る △九日より出演番組△落語(三遊亭歌當)△笑話(はし本都遊)△昔ばなし並に曲藝(朝寝坊らく)△大阪落語(笑福亭鯛蔵)△少年はなし(朝寝坊らく)△落語(歩の家三郎)△おとし噺し(朝寝坊歩輔)△家橋松(?)(花の家櫻八、柳八)△音曲ばなし(笑福亭鯛之助)△人情落語、やりさびふり(橋本川柳) ○毎夜正五時手開演仕り候

黄金館

大活色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 Mカシー商會 朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上)二六三七(階下)

十一月二十一日より差替特別大寫眞 ○實寫海底動物○滑稽二二が四○滑稽吾輩は豚 ○大活劇第五『黒い箱』第十一編(意外の救助)第十二編(鐵道の破壊)第十三編(二人の生死は?)六巻上場 ……

○新派キネマ劇『晴れ行く雲』全四巻 ……

大正館 大寫眞本意の

賜天覧 英伊兩國に於て 第二戰禍 一萬呎
▲第一戰禍は假想戰なり
▲第二歐洲戰亂の實況
大阪○○銀行破綻事件 現代劇 岩上清秋 三巻
尾上松之助實川延一郎出演 舊劇木鼠吉五郎 三巻

櫻井町 電話八七三 大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

十一月廿二日より臨時特別大興行 ○實寫難破船の救助○滑稽自轉車の練習○喜劇 舊劇木鼠吉五郎 △尾上松之助一派出演 全三巻 ○伊國メデユーサ會社傑作『賜天覧』英伊兩國に於て○世界的大寫眞『第二戰禍』一萬呎 ……

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約

時下寒冷相催し候處各位益々御清福大慶至極に存じ候 ……
◎十一月廿一日初日演題 ▲美久仁の花(吉田花若)▲法廷の涙(吉田奈良一)▲太閤記(吉田奈良春)▲石井常右衞門(花の家義雄)▲赤垣源蔵徳利の別れ(長講二席吉田一若) 入場料 特等八十錢、一等六十錢、二等四十錢 ▲開演午後六時より

御成座 御成町 電話二九一

第三十回劇題 迷ひ兒 全六場
新派劇『岩しづみ』全三幕七十八場 ……
○今回は特に平素御贔屓御禮として入場料普通

色が白くなる 優良なる毛生劑拔毛止毛拔劑 きび、そばかすに 美容術に世人の用ひて効力多きは已に知る所也尚當院の薬を飲むでもつけてもきかぬ方は當院の院長洋行研究にかゝる最新白色劑を試みらるべし。當院に於て實地 くせ毛藥等說明書進呈 東京駿河臺東京美容院

タカヂアスターゼ

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり

類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町 三共株式會社

日本一の 鬼足袋 强くて温かい 見て優美!!! 穿いて滿足

東京市日本橋區小傳馬町 寺田淳平商店 電話 浪花二〇〇番 二〇〇四番(營業用) 下谷 九三番(工場用) 振替口座東京八三六七番

販賣御希望の方は御照會を乞ふ 見本一足 金四拾錢 (郵券不苦)

廣告

弊行儀從來龍山漢江通六番地にて山繭絲商行名義の下に專ら繭絲業相營居候處日に增し業務隆盛に趣き候段偏に各位御同情の賜と深く奉感謝候就ては今回時勢の要求に應じ左記の通業務擴張仕り商號を竜鳥居商行と改稱し一層誠實を旨とし業務に奮勵可仕候間何卒倍舊の御引立を賜はり度伏て奉希上候
追て從來の繭絲業は新商號の下に依然營業繼續仕り居り候に付爲念申添候

營業科目
穀物類一切 穀物肥料部 仁川府萬石町 電八五〇
糠油、糠 同 出張所 同 海岸通 電五四五
椿油、石鹼 同 工場 同萬石町十八番地
繭、生絲類 繭絲部 龍山漢江通六 電四四一 平壤府櫻町竜出張所
屑物

仁川港 竜 鳥居商行 振替貯金口座京城三〇一四番 電略(〇リ)又(ハリ)

新發賣 本邦人の皮膚毛髮に適する化粧用水石鹼

○ミツワ水石鹼

MITSUWA LIQUID SOAP.
Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins.
Price 35 Sen and 50 Sen.

(現品縮寫圖)

ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衞生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹼には刺戟甚だしく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、◎ミツワ水石鹼は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すを得、他人の使用せる後にも些の不快を感せず、皮脂の分泌夥多に而も皮膚粗糙なる本邦人の化粧用水石鹼として、實に理想的の逸品にして、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

定價 金參拾五錢 大壜 金五拾錢
技師 工學士 西町太治郎

新發賣 芳香馥郁たる家庭用肌着香水オード、フラール

○ミツワ花の雫

EAU DE FLEURS
made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion on your underwares, towels, handkerchieves, sheets or into the water when washing or bathing, will be so charmed and quite refreshed.
Price 45 Sen and 70 Sen.

(現品縮寫圖)

優秀なる原料と馥郁たる芳香と熟練なる技術とを以て精製されたる家庭用香水◎ミツワ花の雫は、温雅なる芳香を有し、清爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり、從來の家庭用香水には徒に强烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し毫も汚點を殘す虞なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。

定價 金四拾五錢 大壜 金七拾錢
技師 理學士 甲斐莊楠香

新發賣 毛髮の營養料頭髮用衞生香水ヘーヤ、ローション

○ミツワ月の雫

MITSUWA HAIR LOTION.
Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove the dandruff, and stops scalp itching and prevents falling hair.
Price 45 Sen and 80 Sen.

(現品縮寫圖)

定價 金五拾錢 大壜 金八拾錢
技師 理學士 甲斐莊楠香

從來の頭髮用香水には、毛髮を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫は温雅の芳香を有し、毛髮の營養發育に効ある理想的頭髮用香水なり、優良なる品質を具備し、毛髮の衞生に適する◎ミツワ石鹼を以て、毛髮を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衞生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の頭髮用香水なり。

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
ミツワ椿油
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元 ○丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
製劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電話浪花營業部三〇、四四八、四四九、四五〇番 振替貯金口座東京七一〇〇番 電略號〇ミヤ

京城日報
廿三日朝刊　(夕刊と合せて八頁)
本紙定價　一ヶ月金[illegible]　郵税[illegible]
廣告料　五號活字一行金[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　[illegible]

鄭夢周の詩藁

蘇峯生

往年此地に於て、鄭夢周の圃隱集三冊を得、之を逗子老龍庵なる、淇水老人に贈る。老人愛誦、恒に[illegible]。頃ろ[illegible]復た圃隱[illegible]を得たり。此れは[illegible]しく、分[illegible]高麗[illegible]で死して以來、[illegible]刊行したるも[illegible]也。即ち其子鄭宗誠、鄭宗本の二子が、永樂年間に編纂し、正統年間に刊行したるものを、嘉靖年間、其の玄孫鄭世臣が重刊し、而して更に[illegible]三十六年正月十五日、七代孫鄭應聖が、黃州兵營に翻刻したるもの也。萬曆三十六年は、我が慶長十三年にして、征韓役を距る、十年を出でず。即今朝鮮に於ては、壬辰役以前の書籍は、蕩然喪失し、乃ち萬曆、天啓間の書籍さへも、多く見當らず。此書の如きは、亦た若干愛惜す可き價値なしとせず。

夢周は麗朝第一流の人物たるのみならず、朝鮮各代を通じての、學者的政治家たりしならむ。彼は海東に於ける朱學の急先鋒にして、李穡は彼を稱して、「橫說竪說無非當理」推爲吾東方性理之學之祖」と云へり。然も彼には毫も道學先生的迂腐の病なし。所謂舟中大學を講ずるは、彼が屑とせざる所也。彼や麗末に際し、一身を內外に驅せ。五度金陵に赴き、一度日本に使す。其の洪武十年、我が後小松天皇永和三年日本に使し、覇家台に至るや、頗る優遇せられたるが如し。卷中日本出使中の作、十三首あり。何れも誦す可し。然も吾人が最も注意す可きは、彼が烱眼、能く日本當時の風俗を看破したるにあり。

山川弁邑古今同。地近扶桑曉日紅。但道神仙居海東。誰知民社在天東。班衣想自秦童化。染齒曾將越俗通。回首三韓應不遠。千年箕子有遺風。

の如き、一句として日本に切實、該當せざるはなき也。染齒の風俗の南方支那と相ひ通ずるが如き、現代の人類學者も、或は首肯する所ならむ。將た『行人脫履迎尊長。志士磨刀報世讐』が如き。又た『染牙方是貴。脫履始爲恭』の如き。足利初代日本風俗史を、旁證するに足るものなからず。若其れ彼が觀音寺に遊ぶの作

野寺春風長[illegible]同。國中無數[illegible]居僧手自栽。

が如き。纖巧に陷らず、小細工を須ゐず。何となく靈播にして、大家の風あり。偶ま所懷を記して、我が淇水老人に質さんとするも、幽明相ひ隔つる既に二年有半。乃ち振然として卷を掩ふもの、之を久うす。

大正五年十一月十一日午前七時京城旅宿に於て

露國の金吸收策

露國財政商工時報抄譯

四、露國に於て採掘する金を國庫に徵收する方法(承前)

然るに一方に於ては金買占業者は其買入たる金の一部を外國通貨を要する銀行或は商店に賣渡し一部を支那へ輸出す斯の如くして支那に流出したる金は多少誇大の算出ならんも其總量約一千布度(金額千八百萬留)に達す(附記米國造幣局の調査によれば千九百十四年七月一日より千九百十五年七月一日迄一箇年間支那より合衆國へ輸入したる金の總額は六百萬弗に達し其大半は露國より支那に流出したるものなりとす)

以上に記したる諸方法は中流以上の大金鑛業者の手より國庫に金を集中する上に於ても亦大なる効果を齎すこと能はざりき蓋し外國通貨と金との交換は其手數煩累なる上外國通貨は之等の金鑛業者に直接の入用なきを以て之を他に轉賣せんことを急ぎ帝國銀行の買戾を待たずして利益の大部分を提供して之を私立銀行に賣渡さゞるべからず而して金對外國通貨交換方法停止せられ之に代るに政府が初めに試みたる金納付者に對し三割の打步附加法を以てしたれ共大金鑛業者の滿足を得る能はず之に應ずるもの少なく將來尙打步の增額せらるべきを期待し金を比較的高價を以て私立銀行に賣渡すものあり或は自己の買占たる金の一部を帝國銀行に保護預けとし之に對し外國銀行より特別貸出の融通を求め外國通貨の思惑買を行ふものあり他方に於ては千九百十五年の中頃より民間に於て諸種の金細工其他寶石類の買入盛に行はるゝに及んで金銀細工寶石商[illegible]に著しく金の需要起りたることも亦原因の一とすることを得るなり是等の不良なる現象に對抗する爲今日迄行ひたる緩慢なる獎勵法の如きは其効果不十分なること明白となり國內に產出する金を悉く國庫に徵收せんが爲には今日の狀態に在りては是非共今少し激烈なる手段を行はざるべからざるに至れり最も正確にして有効なるは兌換復舊時迄は金塊たると行鑄たるとを問はず民間に於ては一切金の流通賣買を禁止するの一事にして我國は千九百二年迄は金流通の自由なることを知らざりしが千九百一年三月十二日の法律發布後は金の自由賣買行はるゝこととなれり金の流通賣買禁止法は實に我國兌換基金の增大に資する唯一の良策なり然れども唯此方法を採用すればとて單に之のみにては千九百二年迄行はれたる國庫の金を讓渡する手續を復舊したるに止まり千九百二年以降鑛業稅賦課の方法として施行したる處と異ることなきのみならず只採掘したる金を國庫に納付せしむる義務を負はしむるのみにては小金鑛業者及び所謂盜金密買者を攪亂し其結果却て金の密輸出を盛にし或は直接金の採掘高に減少を來たすが如き現象を誘起すべし故に小金鑛業者に對し其採取する金を悉く國庫に納入せしむるの義務を負はしむると共に所謂金の盜掘者或は外國にて所謂採鑛者(プロスペクター)と稱する者の業務を認可すべきが爲には之等業者の開墾せる地區を保留する手續を簡易にし彼等をして其採掘したる金を國庫に賣渡す正當なる權利を付する採金業者たる自覺を與へ其の業に安んせしめざるべからず

又他の一方よりは此等金の密賣買業者小金鑛業者及び中流金鑛業者をして其採取したる金の代價を直に運轉資金に變せしむる爲金の買入所及び代金支拂所を可成採掘地の附近に在らしめ同時に產金地の附近に在る支金庫又は郵便局に於て採掘金の分析及び代金假渡方法を立つべし專門家の意見によれば之等の設備には左程多額の費用を要せざるべしと謂ふ又同時に金の流通賣買自由法施行前に行はれたるが如き金鑛業者間に於て登錄法を以て金の賣買を許すの規定(千八百九十九年六月十八日大臣會議に於て制定せられたり)を復活せしむべし又金買入所を產金地附近に在らしむる爲私立銀行支店又は大鑛業者の附屬として現存する分析所を保存し銀行及び之等の鑛業者に委託し國庫受託仲買として規定の價格を以て小額の報酬により他の金鑛業者より金の買入に從事せしむるの法を施行すべし

會寧見聞錄(一)

西海一生

□軍營地の會寧

▲淸津より會寧へ赴く途中の茂山嶺越は、トロに乘つて風を眞向ふに受けたので、寒さが急に嚴しくなつた爲め半死半生の酷い目にあつた、其の顚末は社會面に惡文の通信を既報したから茲に繰返さぬが、兎に角烈寒に五時間も苛なまれた事は、記者の過去に於ける忘れ難い記憶の一となつた

▲會寧は初めから一泊の豫定であつた爲め、著ゐた夜と翌日の午前十時迄に見るべき物を見、訪ふべき人を訪ひ、聞くべき事を聞かねばならなかつた、折好く朝鮮銀行の今井氏と淸津から會寧まで同行し、途々同氏の口より會寧の概念を知り得たのは幸ひであつた、

▲會寧の地勢を見ると、市街は豆滿江へ放出する會寧川下流域の廣野にあり、豆滿江を隔てゝ間島に對してゐる、恐らく帝國陸接國境第一線中、會寧程軍隊の多數駐屯せる場所はあるまい、軍事上より見て會寧が如何程の價値を有するかは素より記者などの毫も與り知らぬ所だが、其の重要な地點である事は既に一個聯隊の兵力を收容し得べき日本第一の完全な兵營の設けられてゐる事でも解る

▲而已ならず二個師團朝鮮常設の結果、大正八年度に第廿師團が完成すると、會寧には步兵旅團の司令部が出來、駐屯步兵は一個聯隊に增加せらるゝ、其の爲め現に軍營地へ隣接せる廣漠の土地には『陸軍所有地』なる名目を附してあるが、兵備完成後の會寧は兵營も倘ほ增築され、旅團司令部、聯隊本部も設けられ、將校以下の官舍も多く增築される事に確定してゐると云ふ

▲其頃までには或は軍隊教育の必要上、守備隊の分遣を廢し、統一を保つ爲め兵力の集中と云ふ事も行はれやうから、事實會寧には步兵一個聯隊、工兵一個[illegible]に至る、豆滿江岸軍營地として堂々たるものとなり、單に軍隊の駐屯增加と云ふ點より見ても、市況の活氣を帶ぶるは些の疑ひを挾む餘地がない

▲今日の所會寧には二個中隊强の步兵、二個中隊の工兵、憲兵分隊、衛戍病院の四つがある、記者は步兵隊を訪ふて國分少佐より營內の案內を受け、步兵が其の嚴寒な自然の障碍と戰ひつゝ、練兵を勵行すると共に一方國境守備の大任に當れる事を知つて、其勞の少なからざるを思つた

▲工兵大隊は丁度慶源方面へ演習行軍中で、遂に作業場を訪問し得なかつた、然し聞く所によると大隊長の成田中佐は嚴重な[illegible]、帝國陸軍の工兵部內で三四を爭ふ人で、其の練兵及び營內の[illegible]紀風紀維持の如き[illegible]であつた

▲會寧は市民は陸軍の爲めに大變得をしてゐる、陸軍省は軍營用として作つた水道の餘水を二三年前より市民に配給する事とした、爲めに腸窒扶斯の發生の如き著しく其の數を減じ衛生狀態頗に良好を加へた、又此頃は陸軍用電力の分配を市民より陸軍省に請願中との事だ、其の可否何れに極まるか不明だが、目下陸軍發電所の餘力は市民に點燈を許しても十分であるとの事を聞いた

▲恰度記者の會寧を訪ふた頃、陸軍官舍約六十棟が、小丘を背後にし、軍營地に接して[illegible]してゐた、中旬より各將校は此頃呼び寄せてる家族と共に官舍に入ると云ふ事であつた、斯くして軍營地としての會寧市街は逐次建設されて行くやうだ

日報詩壇

○登北漢山　高井椿堂

相喚相呼引杖攀。崎嶇石逕棘荊間。袁圖何及望中趣。駐屐雲生北漢山。○踊躍鬱步路高低。曲折羊腸攀且躋。上初知存數戶。隔溪時聽午雞啼。

評曰　壯觀幽境。寫得逼眞。

○村上義光　安東粲雲

花落芳山萬恨長。千秋猶剩御衣香。忠臣自有忠臣分。死護王孫彥四郞。○杜鵑啼血斷人腸。樹暗芳山月失光。誰使王孫甦錦旆。悲風慘雨恨方長。○丹心如鐵報君王。奪錦旗還芋瀨莊。道南風終不競。芳山空委任豺狼。○

評曰　首首眞摯。詞格勢稱翁。

日報歌壇

京城　野口消

小鳥飼ひてものなど欲ゆ秋の日のたそがれ遠く君をおもひね

王城のつひぢの壁の蔦葛秋美しき色に染みゆく

悲しみは土見る度にいやしがり彼の白雲の飛び行くぞよき

煙突の口の煙のふと絶ねてさまよふ我たまに似る

▲後場の手振

▲買續て買ふ

▲⑨能く買ふ

一冊十六錢(十五日號)郵税特に四錢

東洋經濟

調査 □對露輸出貿易の解剖(上) ◎金融の緩漫と物價の全般的騰貴 ◎十月末の株價指數 ◎本邦輸出入品詳解

社說 □財界の沸騰の其前途 □輸出販路の戰後に維持就いて

本號附錄 米 紙數廿八頁 維新以來米價毎月高低 市場生產高各縣過不足輸移出高其他米一切の統計

社說 □信用組合の振興策如何 □鐵道貨物の激增 ◎列强の船舶政策

放資 □砂糖會社來期業績豫想 ◎攝津紡績株式會社 ◎擴張近き日本グリセリン ◎木材乾餾事業近況

東京牛込　東洋經濟新報社　振替一八一五六

電話增設廣告

增設電話「七四八番」

撫順炭　三國商會

西大門貯炭場　電話長九〇〇番　電話一八〇〇九番

司法省認許

刑事訴訟法改正案

◎體裁五號活字(司法省原版原形通)　菊版全一冊　定價金五拾錢　郵税金四錢　特價金參拾五錢
◎部數割引　二十部以上特價の一割引
◎部數割引　五十部以上特價の二割引

珍刑事訴訟法改正案

◎體裁　六號活字(書入携帶用)　三五版全一冊　定價金拾五錢　郵税金貳錢
◎部數割引　二十部以上定價の一割引
◎部數割引　五十部以上定價の二割引

東京神田區今川小路二丁目四番地　淸水書店　電本九六四。九六五　振替東京七四四七

登錄商標

高麗人蔘

一、近來京城府內に於て弊社名を盜用し營利の奸策を弄する者あり
二、弊社の扱品には毎個必ず上記の商標を表示す
大方の各位此點に注意し奸商に誤まられざらんことを希望す

朝鮮開城大和町　高麗蔘業社

會員募集

銀行會社商店員養成の講義錄

本會は最新實務家養成唯一の機關也卒業者は就職望次第目下入會の絶好機最大特典提供見本付會則進呈

東京牛込區西五軒町　振替東京三三一九三　銀行會社事務講習會

廣告

今般左記の所に於て描者關係の業務相營申候

東京市日本橋區吳服町三十番地　安藤達二　電話特長本局七九〇番

咸鏡北道淸津府寶町　木材竹材繩叺筵商　穀物セメント　伊東商會　「電話六二番」

一支那領豆滿江木材各種販賣

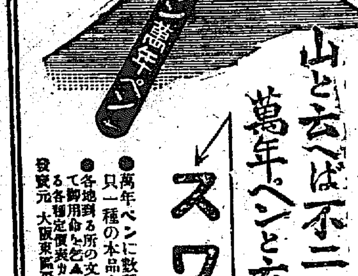
紅松杉松角材廿一尺以上三十六尺延丸太材各種入荷
本年は各河川本支流共減水甚敷一本流しを以て流下し今後年內猶ほ數千本著荷す
當商會は千古未曾て斧鉞を加へざる汪靑縣の大森林地域數ケ所に伐採場を特定し約三倍の運材費を投じ專ら雄幹良質の選伐を爲すが故に卓絶なる優良品として其名を讓らるゝに至れり
價格は他品と大なる差なく徒に其聲の安きに似て製產額少なき不良材よりも採算上寧ろ利得なり
本年は更に數ケ所の伐採場を增設し紅松杉松落葉松白楊胡桃欄楢柤木粗楡其他の雜木も𥡴に搬出の準備を爲す
當商會は從來庫春土里出張所の外新に大阪市南區木津川一丁目に出張所を設置し內地は勿論海外輸出の目的を以て販路擴張に努む
御注文に依り短尺もの又は經三尺乃至五尺內外長四十尺前後又落葉松杉松紅松の丸太材は長八十尺迄の引受を辭せず尤も時種品に御注文にあらざれば伐採せず
一日貳拾五萬才以上の賣買に付ては特に割引をなす

二十二日の一月限
十一月限　一萬四千五百五十石
十二月限　千石
一月限　七萬四千五百五十石

雜誌界の人氣役者・十二月號

講談雜誌

三甚內　高尾山出遁(二十七頁の出講)……寶井馬琴
天明白浪　鬼のおよし……錦城齋典山
(大判口繪)炬燵(鏑木淸方)
油屋騷動……[illegible]
俊寛僧都　硫黃島物語……[illegible]
高尾(落語)……[illegible]
尾上松鶴　草枕戀旅杖……[illegible]
奧州娘白浪　番頭淸六(三十六頁の大長講)……悟道軒圓玉
柳生之聞書……田邊南龍
芋俵(落語)……柳家小三治
お夏淸三郎……[illegible]
片棒(落語)……[illegible]
雜錄　△久々のいかもの　△新女優風聞錄
永井源三郎　伊賀流の忍術(三十頁の大長講)……猫遊軒伯知
定價前金　一冊二十錢　郵税一錢　東京本町　博文館



山と云へば不二　萬年ペンと云へば　スワン

●萬年ペンに數種あり權威ある只一種の本品を撰み給へ
●各地到る所の文房具店に販賣せり尙特に御用命あらば定價表御送附申上ぐ
發賣元　大阪東區平野町二丁目　スワン大阪支店

アイス・スケート

美滿津製BMM……一、八五
ウインスロー社製……三、五〇
……三、七五
……四、七五
其他各種
スキー、雪橇其他冬期運動用具全部取揃居申候間御用命乞フ(定價表御申越次第進呈)
スケート小包料ハ一足ニツキ內地十二錢、支、朝、四十錢

東京本郷　運動用具發賣元　美滿津商店　本郷五丁目　振替東京七六〇

○御饗宴御日取決定

宮中幷に東宮御所に於て御開催

立太子御儀御饗宴は來る二十七日より十二月四日迄宮中及び東宮御所とに各別に御開催相成ることゝ爲り御日割は左の如く御治定宮中の分は波多野宮相より東宮御所の分は濱尾大夫より夫々御召狀を發送せり（東京特電）

▲宮中御饗宴

▼二十七日（兩陛下拜謁豐明殿御陪食）各皇族、大勳位、國務大臣禮遇、元帥、親任官、同待遇、公侯爵、勅任官同待遇以上各國大公使同夫人等千二百餘名

▼二十八日（正午より兩陛下拜謁豐明殿賜饌）伯子男爵並に宮內高等官同待遇

▲東宮御所饗宴

▼二十九日（正午霞ケ關離宮東宮殿下に拜謁御陪食）各皇族、大勳位、親任官、同待遇以上四百餘名

▼三十日（正午芝離宮東宮殿下に拜謁賜饌）第一艦隊將官將校海軍軍令部將校

▼十二月一日（正午霞ケ關離宮東宮殿下拜謁賜饌）宮內勅奏任官同待遇新舊御近侍の一部

▼二日（正午離宮東宮殿下に拜謁賜饌）淨法寺少將以下近衞師團上級將校同相當官

▼四日（正午東宮御所東宮殿下に拜謁御陪食）東鄕總裁以下御學問所職員濱尾大夫入江侍從長以下東宮職高等官伯爵川村鐵太郎氏母堂春子、柳原花子、木戶末子、樺山常子其他數名

○段總理に辭職勸告

黎總統の決意＝段內閣不日變動か

黎總統は二十日孫洪伊氏を罷免すると同時に段總理に對し婉曲に辭職を勸告し更に二十一日午前參謀總長を段總理の許に派し段の處決を求めたるに段の回答如何に依りては或は總統の職權を以て孫と同樣罷免するやも知れずと右に就き或る者は段內閣も玆數日を出でずして變動すべしと云ひ又或る者は黎總統は之れが決心をば徹底貫徹するや否や疑問なりと評せり（北京特電）

○內務總長代理任命

北京特電＝孫洪伊氏を罷め內務次長謝遠涵氏を內務總長代理に命ずる旨の申令發表せられたり支那新聞紙の傳ふる所に依れば此の罷免は徐世昌氏に諮る所なくして斷行せられたるなりと言ふ徐氏の說に謂へらく今日の危機に際して內閣に大なる變動を行ふは不得策なり段內閣は飽迄之れを維持するを要すと又た曰く余は政界に入るの意思なしと（上海特電）

○支那新政黨組織

紀儀、孫洪伊等理事と爲り新政黨を組織し民政兩三日內に宣言を發表する筈なるが黎總統[illegible]るべし（北京特電）

○獨軍クレオウアに殺到

ファルケンハイン軍は羅馬尼軍の防禦線を突破しクレオヴアに殺到し羅軍の形勢重大となれり（紐育電報）

○濠洲同盟罷工不熄

濠洲に於ける炭坑夫同盟罷工今猶熄まず工業界運輸界大恐慌を惹起し影響頗る大なり（倫敦電報）

○東拓會社臨時總會

東洋拓殖株式會社臨時總會は二十二日午後一時より東京商業會議所に於て開會石塚總裁、河內山總督府事務官、坪井梨本宮別當外重役株主五十餘名出席石塚總裁議長席に著き林、井上、村田三理事の後任選擧の件を附議し議長指名にて現任幹事松平直平子、前朝鮮銀行監査課長高橋梅吉、前平安北道長官川上常郞の三氏を選任する事に決し二時散會せり（東京特電）

○調節策と利用法

大藏省は不日金融調節策と正貨利用法を發表すべし（東京電報）

○滿鐵刷新運動

滿鐵會社株主の一部は會社內部の刷新運動を開始し幹部に之が斷行を迫りつゝあり（東京電報）

○首相山公訪問

寺內首相は二十二日午前九時四十分山縣公を椿山莊に訪問し數刻會談せり（東京特電）

○河野前農相歸京

九州遊說中なりし河野前農相は二十一日關門通過歸京せり（門司特電）

○東拓理事

廿二日任命發表

二十二日東拓理事三名左の如く任命發表されたり（東京特電）

從三位勳三等子爵 松平直平

從三位勳三等 川上常郞

高橋梅吉

命東洋拓殖株式會社理事（各通）

○大連の財界

▲一般金融市場 大連の最近一般金融市場は夏枯閑散期を過ぎ特產物の出廻り漸次增加するに伴ない愈々繁忙の季節に入りしが今年は銀相場の昂騰特に小洋銀の暴騰の爲め內地向輸出取引活氣を殺がるゝの憂にありて金融も自然緊縮甚しきに至らざるべきか而して正金銀行滿洲各店は十月一日以來金勘定貸出し利率一厘方引下げたれども銀勘定に於ては二厘方引上げたり

▲農產出廻り 滿洲に於ける本年の農作物は區々の說あれど平年よりは僅に增收なるべし而して大連に於ける農產物の到著は日一日と增加し月末に於ける大連埠頭在庫貨物は合計十萬九百九十一噸に昇り前月末に比し六萬三千百十四噸を增加し昨年同期に比し三千七百三十三噸の增加なり而して今後奧地よりの出穀は益々增加の見込なるが今大豆及び豆油につき前年同期在庫數量に比較すれば大豆は四萬噸餘の增加豆油は歐米向輸出の旺盛なるが爲め昨年の在庫千三百十六噸に比し今年は僅に四百五十八噸に過ぎず

▲特產物市況 十月中に於ける特產物市況は一般良好にして月末に於る大連重要物產取引所公定價格（銀建）は大豆百斤三圓五十八錢豆油百斤十五圓五十三錢豆粕一枚一圓十一錢なり而して豆油は米國棉實大減少の報知と輸出向買進み多かりしと相俟って人氣沸騰し月初以來二圓二十錢の昇騰を見前年同期に比すれば實に三圓八十四錢三割二步の暴騰なり豆粕は年初以來不況續きにて本月に入りては尙ほ未だ恢復せず一圓代を往來し昨年に比し十錢方下位にあり而も豆油買込みの當然の結果豆粕の製造昨年より優勢ならんと見越され兎も角弱氣勝にて伸力鈍き商狀なり大豆は豐作氣構豆粕相場の低落銀高による內地取引不況見越等の弱材料ありと雖も目下に於ける相場は豆油漸次騰貴の趨勢にて底固まり月初以來引緊り二十錢方の昇騰を見昨年同期より一錢高今後豆油の好況と相俟って氣配强硬先高の見込みなり

▲鮮米入荷 朝鮮米にして仁川南浦より輸入する者は月々二三千噸に上り次第に增加し九月には鮮米一萬六千四百餘噸其他四千八百噸の激增を見たり鮮米以外は主として上海米なりしも近時臺灣米の輸入せらるゝもの增加したり之れ小麥粉騰貴し臺灣米との値開き僅少となりたる結果支那人食用品として需要の增加するに至りたるものにして每月二千五百俵百五十斤入位の賣行きありと

○天寶山鑛と銅

間島天寶山鑛山は過般來坑內整理として從來の經營者が銀のみを採取して遺棄しある多量の銅分を含有する鑛屑中より銅を精鍊採取するの作業に努め居れるが其結果一日約一噸の灰銅を生產しつゝあるが之れを淸津港に搬出し淸津より海路內地に輸送する事となりたるが天寶山より六道溝間島を經て會寧迄は馬車又は牛車により會寧より淸津迄は汽車便によるべしと（淸津）

○北鮮鰊豐漁

北鮮地方秋季鰊漁期に入れる事とて昨今時々鰊群の沿海を游泳するあり本月三日城津港附近に突然鰊群の襲來せるを發見し同地漁業者は早速準備を整へ五日迄に五萬五千駄價額約一萬圓を漁獲せり又た雄基地方にては八九日頃より小群の游弋を見しが十一日には大漁群の襲來あり一日にて約一萬圓の漁獲ありたるが本年は斯の大漁群の襲來頻々あるより何れも斯漁に望を屬しつゝあり（淸津）

○忠北陸地棉好況

本年產額約八十萬斤の忠北陸地棉は之が主產地たる永同沃川地方にて昨今盛んに取引中なるが近年陸地棉種子の如きも漸く地方風土に適化したる傾ありて益々品質の向上と作付地域の擴大とを見つゝあるが現に試作の結果は淸州郡文義地方も之が好適地と認めらるゝに至りたり殊に本年よりは鈴木商店經營の操棉工場永同に於て開設せられ同地にて直接耕作人より實棉購入を開始したると一方價格好況のため耕作人は意外の利益を受けて地方經濟狀態に好影響を來したる由にて同地方は目下商取引の如き非常の好況にありと然して繰棉工場員の談に依れば同地方產は品質に於ても全南木浦附近產に比して優秀なりとのことなれば今後忠北陸地棉の發達驚く可きものあるべしと（淸州）

○最近咸北の鑛山

最近調查の咸北道管內鑛業權及び鑛產額鑛區面積は金鑛四、金銀鑛二、砂金鑛四、金銅一、金銀銅鉛安質母尼鑛一、銀鋼鑛一、銅鑛一、鐵鑛六、黑鉛鑛一三、石炭鑛一七計五十にして其總面積一千百二十九萬七千二百五十三坪年產額四萬八百五十四圓なりと（淸津）

○咸北養鯉開始

咸鏡北道管內にては從來河川魚に乏しからず鯉の如きは饒產せるも獨り鯉魚は其棲息甚だ稀なるより同道廳にては豫て養鯉の計畫あり然るに總督府にては昨年度に於て密陽に鯉養殖場を設置し既に鯉兒の孵化を見たるを以て咸北にては其の配付を受け本年度より試驗事業として愈々其の飼養を開始することゝなり本府は此の程密陽養魚場に命じて體長一寸乃至三寸の鯉兒（流海鯉）約五千尾を無償配付せしめたれば道廳にては不日之れを管內適當の池沼に放養す可し因に鯉兒は運送距離陸路三十八哩餘海路五百三十七哩を經て漸く到達し之れに要せる日時百十六時間に及べるも其の步減りは僅に三割三分に止まり輸送上頗る良好の成績を得たりと

○授產場生絲輸出

京城恩賜授產製絲場にては二十日生絲五百斤橫濱に移出せるが價格は去る十六日發送の第九回分五百斤が百斤に付一千三百六十圓の最近高値を示し居れば今回も大差はなかるべしと

○仁川籾摺業旺盛

仁川に廻著する米穀の多くは黃海南西の沿岸奧地及び忠淸南北道の產米なるが此等各地方には精米力乏しき爲め其の大部分は籾の儘にて仕向けらるる結果勢ひ集散地たる仁川に於ける籾摺業は近年頓に勃興し鮮人側のみにても四十一名の經營者あり一箇年間の摺上げ高は實に十四萬三千四百石に達するの盛況なり而して本年に入りてより創設せられたる者約二割を占めたるが廻著籾出盛期に入れる折柄昨今各工場共に操業に繁忙を極めつゝ有り（仁川）

○仁川醬油釀造槪況

仁川に於ける醬油釀造業は逐年發達し遠く安東縣、大連、天津等各方面に販路擴張しつゝあるが日本醬油、高杉商店外九釀造家の釀造石高は六千四

○鴨綠江の結氷期

鴨綠江の結氷期間は其結氷狀態により是を流氷開始船舶航行杜絶結氷期の交通の四期に分つことを得るものなるが去る明治四十二年以降流氷の最も早かりしは大正元年の十一月十日にして最も遲かりしは大正四年の十二月五日なりしが本年は已に江岸に沿うて薄氷を見たること一兩回ありしも孰れも其後の溫氣にて流失したるが目今の氣溫を以てすれば十二月に入らざれば流氷を見ることなきものと觀測せらる（新義州）

○鍋島侯爵入京

鍋島直映氏は二十二日午後九時南大門驛著入京せり

○鐵道航路打合會

全國各連帶鐵道及び航路運輸當務者事務打合會は來る二十八日より約三日間帝國鐵道協會に於て開催の豫定にて鮮鐵よりは井上副參事出席すべしと而して鐵道院よりの提出議案左の如し

一、列車運轉時刻期日一定に關する件

一、停車場共同使用に關する件

○秋山新研究會長

兒玉伯爵の後任として研究會長を承諾せる秋山法學博士は去る廿日午後六時三十分永樂町の事務所に出頭し會員一同に研究上の訓示を與へ終て敎授の狀況並に事務等を視察したり

人事消息

▲吉木彌三氏（總督府醫官）鑛泉調查の爲め二十三日朝京元線釋王寺へ出張

▲栖梧貞通氏（大連正金銀行員）二十二日夜入京大眞棧へ

露領行記

□イ市の同胞（第廿五信） 翠花

○收容現人員約四十萬のイルクーツク市に百八十名の日本人あるは數取りにも足らず、縱橫無盡に市中を徘徊するも容易に見付け難しと雖も何處かに是だけの同胞の居住せるは日本の勢力を證すべし、聞くが如くんば昨冬迄は洗濯業者十名斬髮業者四名の外雜職者二三名に過ぎざりしが今春以來俄かに殖ゑて現況に達し何れも一年未滿の居留者なりと云へり

○親は無くとも子は育つとかや、我は在外同胞が何等官憲の保護なくしてイ市の居留民が莫斯科領事の支配下に屬し何事も二階より目藥の所詮全くの孤兒なるに似ず、今年初夏の劒て能く國旗を辱かしめざるを悅ぶ、民會を組織し濱田醫師を會長として克く結合し、去る八月の天長節を以て縣知事、留守軍團長、後貝加爾鐵道長官、市長をはじめ朝野の名士數百名を招待して大祝賀會を催し、大に氣を吐きてより爾來頗る諸方面に便宜を得て重きをなさるゝに至り、一月前市長の催せる大慈善劇にも特に日本人の出演を求められ各多額の出資を厭はずして其特技を發揮せりと云ふ

○斬髮業より蹶起して未だ小やかなれどイ市の銀座街たるボーリシャー街に日本雜貨店を開きつゝある白石桂四郞君は出世者の旗頭に置かれて將來あり、イワノーウスカヤ街に開店せんとしつゝある片岡林吉君の開業せば我が同胞のイ市に店舖を張るもの二軒となるべし、寫眞技手の如きは露人の出來ぬ手工に巧みなりとして何れも歡迎せらる。

○不思議なる邦人としては郡築小三治なる老人あり信州の產、獨逸種の露婦を妻として幼兒二人を有す、イ市に在ること已に二十年、元寫眞業を營めるよしなるが今は耄碌して殆んど我が國民性を失し同胞の憐をも受け難く之を受くるも肯ぜずして零落せり、日露戰爭中は五臺房の金鑛內に在りしとぞ、イ市に我が醜業婦無し、新國境附近にある鮮人の行動槪して腐敗すべき擧作多きに反し此地の新同胞は穩健にして生も亦安きが如し。（三十日）

□定例休刊

明二十四日は新嘗祭の翌日に付二十三日の夕刊並に二十四日の朝刊共定例休刊す

○モナスチール陷落効果

勃牙利に及ぼす大打擊

モナスチールの陷落は勃牙利に對する大打擊にして彼等がマセドニアを併吞せんとする野心の失敗を意味す獨墺が勃牙利を援助する能はざりし事は獨勃の提携が其の終に近ける端緖たらん又モナスチールの陷落に依りファルケンハイン軍の羅馬尼壓迫が薄弱となるべきは疑なかるべし（倫敦電報）

○ドイツチランド號出港

ニューロンドン來電＝獨逸潛航商船ドイッチランド號は解纜したり

（附記）ニューロンドンは米國コンネチカット州に在り（紐育電報）

一朝鮮紙 十八萬枚 右購買ス詳細ハ大正五年十一月廿一日以降ノ總督府官報ヲ見ラルヘシ 朝鮮總督府臨時土地調查局

東京時事新報社發行 二大子供雜誌

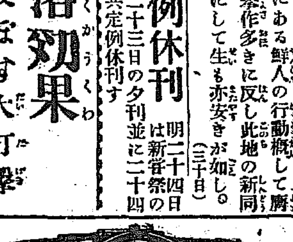
少年 （見よ「少年」の呼物）
怪潜航艇 / 希臘兵士 / 魔法部屋 / 柏の猫先生 / 怪魚と小判

兩誌 歲末號 定價各十六錢 郵稅一錢半

少女 （見よ「少女」の呼物）
逃げた山雀 / 巖窟に咲く花 / 一縷の光明 / ライン昔語 / 室咲きの花

朝鮮鑛業要覽 一部定價一圓廿錢 附圖 朝鮮地質鑛產圖 京城日報社代理部、大阪屋號書店

最新式腕卷時計 アンクル械 新荷着
▼金側 自壹百廿四圓 至金廿圓
▼銀側 自金廿八圓 至金十五圓
▼純ニッケル側 自金十七圓 至金十五圓



京城本町二丁目 村木時計舖京城支店 電話京城四七一 振替京城三一九〇
其他眼鏡貴金屬品は當工場に於て製造致候間多少不拘御用命願上候地方御注文は代金引替小包便にて御送納申上候

病氣引籠中の處全快候に付診察開始仕候 齒科醫 楢崎東陽 京城南山町二丁目

專門 化學應用 印半天 洋服丸染 京城魚市場隣（電話二八五七番） 若宮染工場
特に厚司襟は三本一組八十錢にて染上仕候

京日案內
普通
◎明治三十七年來の老舖にして顧客十三道に普く、四通八達の位地にある安宿屋讓りたし（姓名在社）765
◎金融 官吏商人理髮店に極秘信用月賦日掛貸金委細來談を要す 本町電車終點 質商 大和屋 747
▼印刷と製本 古本の綴直し致ます 本町二ノ電二五二七 ウツボヤ書店 591
◎配達人至急募集希望者は本人來談あれ但市中確實なる保證人を要す 龍山漢江通 町田新聞部 電五二二番 771
◎外交記者採用希望者履歷書携帶二十三日迄午後四時より來談保證人要す 吉野町一の九 一帝國鐵道新聞支局 772
◎支部長 高尙簡易有利事業見本百頁確實希望員は郵券二錢照會即報す 東京麴町下六番 大日本國民敎育會 773
◎電話讓受けたし 本町 飯塚 764
◎小兒差上たし、本月生れの男子身體强健血統正し愛兒の方に差上たし（姓名在社）
◎事務用煉瓦造二階屋大小數棟有貸家 京城長谷川町五八番地 ゴルシャルキ 756
◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 書肆 松昔堂 713
◎習字御手本類は何でも有ります（目錄送呈）東京市南神保町九 精華堂法帖店 743

番外
店員募集 印刷上に經驗ある者數名入用 履歷書要す 平壤旭町 植木印刷所 763
事務所向貸家 支那領事館通り 希望の方は電話一一四〇番へ 753
□毛皮なめし專門 京城黃金町三丁目電話三八九番 並に染仕立 和泉商行 745
◎質 開業 黃金町三丁目十五番地 永樂町停留場北入萬成舍隣 濱田 750
◎京城春川間行自動車賃金片道四圓 京城春川間每日午前八時出發 ◎南大門通一丁目電話二一九番 主務 金正淵 廣橋自働車組 630
△獵期と魔法瓶 魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 662
賣地 三千坪餘 南大門通漢湖農工銀行隣 京城黃金町二丁目電話一〇一五番 喜多金光堂 671
家兎 種兎 仔兎 販賣 西大門外阿峴里電話一八五番 蘆田養兎園 705
☰易 觀相 見料隨意 每日十名限 聽依賴 永樂町一の九 均陵庵 707
●銃砲火藥獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 755

……於て叙式を擧行す……民の重なる者に夫々案内狀を發した……る兩校は從來平壤尋常小學校の一二部長より慶北一部長に榮轉した……郎氏送別……午後六時より大同館に於て開催し當道……

會は二十四日午後六時より大同館に於て開催せらるべしと

……各地實科女學校視察報告あり次で奈良議員の詳細熱誠なる演說に何れも……會せり

……非常の盛況の裡に午後四時閉……

……百八十本三インチ……鐵管百五十本は其一部分已に到着し久保田權四郎、米田商會、松下房次郎より納入すべく……

七箇所の多きに至るべきを以て既設の分と共に工事竣工の曉は共用と……しての供給は當分の……先づ充分なる

……出張所へ引渡すものも尠からず……云ふ▲兩棧橋の工程　稅關棧橋は此……程架替工事に著手したるが新設計は……下組の請負にて大修繕を加ふべく工事に著手したり

●馬賊に捕はるゝ記（四）

▽大清宮に居た若い馬賊　▽早稲田出身の頭目

命懸けで飛び付いた樹の枝は好い鹽梅に折れもせず手が外れて谷底へ落ちもせなかつたので私は急いで枝から幹の方へ傳つて下りたが知らぬ山中の眞夜中の事であるから方向は皆目分らなく成つた仕方なしに息を殺して

■樹の根に蹲つて　樣子を窺つて居た而し部室の方では其後少しの物音も聞ねず門前の犬の吠ゆる聲も靜かに成つた氷のやうな夜露が梢からポタ〳〵と溢ぼれて頭の上に落ちる度毎に私は矢でも射込まれたほどヒヤ〳〵と爲ながら隨分永い思ひをして夜を明した、昨夜の騷動がどうしても合點が行かぬ、寺の表へ廻つて僧侶達に昨晩賊が來やしなかつたかと尋ねると犬は大變に激しく吠えたけれども賊が來たのでは無かつたらしいとの事に始めて私が要心過ぎて臆病に成つて居つた事が判つた、餘り馬鹿々々しいから默つて其の儘自分の部室に這入らうとすると昨晩内から鋸前を下して這入る事が出來ないのでどうしても中へ這入る事が能きない仕方が無いから又元の通り窓の下に廻つて樺の枝から

△窓に飛付いて　中へ這入つた朝飯を寺で濟せて、馬賊の根據地で有名な黄山、青山の村落も無事に通過し今晩泊る豫定である大清宮に近い時にさしかゝると一軒の湯を賣る店が有つた其處で休んで居ると支那人には珍らしく總髮を蓬々と延ばした大の男が此の茶店を覗き私に向てお前は何處へ行く者だと尋ねた私は沙子口迄と答へると其の男は左樣かと何んの要もない事を尋ねて去つたので私はそれが非常に氣に成つた茶店の主人に今の男は何者であるか尋ねるとあれは手前の友達で此の邊で芋を作る百姓だと云つたが何うやら

■胡亂な男らしい　ので茶店を出てからも道を變へて大清宮に行かうかと考へたが何にせよ四方峨々たる岩山であるから容易に他の道路を取る譯にも行かず殊に一里半ばかりの近い處だからと頻に雜木林の中に道を急いで進む内に一里も來たかと思ふ時に獨逸の山岳會で拵へた道標の記してある道端の岩石に腰を掛けて居つた二人の支那人が私の行手に立塞つた私は此の時程驚いた事は前後に其の覺えが無い妙な男に遭つたと思つて居ると行く先きを問ふから自分は今晩大清宮まで行つて其處に泊る考へだと云ふとそれなら恰度自分等も大清宮まで行から一緒に行うと云ふ仕方なしに道伴に成つて頤を見て途中で撒いてやうと思つて居ると先方もそれと感付たのか『急いで歩け』と云ひながら私の腰を蹴つので私は驚いて振り返つて見ると二人は私の

△鼻先へ拳銃を　突付けたそれと同時に横合の岩陰から又同じ服裝をした二名の支那人が現はれて來た見ると之れも拳銃を手に手に差し向けて居る噫私は赤馬賊の手に陷つて終つたのだもう殺されるなら茲を動かずに殺されやうと思つて居ると『歩め向ふに行と日本人も居る』と云はれたので私は何だかそれが氣に成つて堪らないので兎も角運を天に任かせて四人の賊に圍まれながら大清宮に著いた午後四時少しすぎだ寺の門前には三四十人の賊が集つて居つた四人の賊は大きな聲で『日本人一個』と叫びながら門の中に私を突倒し込んだすると門内に居る賊が此方へ來いと云ふので奧の方へ連れて行かれるとカーキー色の詰襟服を著た若い男が廊下に腰を掛けて居つた此が頭目であるらしい私は其の前に跪づかしめられたすると其の男は『君は軍人だらう』と

■巧みな日本語で　云ふので私は驚いて其の顏を見ながら『私は軍人では有りません畫家です』と云ふと『それでも軍人らしい服裝を爲て居るではないか』と云ふので自分は此の男は日本語が分つて居るから好い鹽梅にしたら命は助かると思つて自分は天津から來た事病氣上りで貧乏畫家で金が無くて難儀をして居ること毎日二三錢宛の芋で二十日餘りも命を繋いで居る事など哀れを込めて物語ると頭目は非常に私に同情してそれなら一應身體檢査を爲ると云ふので私は地圖やら書類やらを巧みに尻の下に隱して身體檢査を受けたので天津から歩いて來た貧乏畫家だと云ふ事を信じたらしく頭目の云ふのに實は乃公も天津生れで

■早稲田の法科を　卒業した者だが支那官憲のやり方が氣に喰はぬ處から遂に馬賊に成つた事などを話して居る處へ部下の一名が慌しく『官軍が青山方面から大擧して討伐に來た』と知らせて來たので頭目は決然立つて『可哀今から直ぐに發とう』と叫んだ、そして私を顧みてこれから自分は或る方面に出發するのだ又天津で逢う事にしやうと部下の一人を呼んで其の者から洋銀五十錢を取り出して私に呉れやうとしたから私はそれを固辭したすると頭目の云ふのに困る時は日本人でも支那人でも同じ事だ此の金は僅かばかりだが賊馬でも傭うて乘つて行つて呉れと頻りに勸めるので

■私は其厚意を受け　深く謝して受納めた頭目は更に五圓の紙幣を一枚取出して寺僧に與へ昨晩からの賄料だから少ないが取つて置くやうにと云つて渡し聊か悄てたる氣色もなく悠々と大清宮を引揚げて行つた私の災難は之れから後の事だ（三道濱州商伯談）

□竹田兩宮　御不例に渡らせ給ふ

竹田宮恒久王殿下には本年七月豐橋騎兵聯隊御在職中腰部神經痛を惱ませられ御歸京後第一師團司令部附に御轉補高輪の御本邸にて御靜養中なるが御經過捗々しからず茲當分は御外出叶はせられざる御容態なりと承はる又同妃昌子内親王殿下にも今夏日光に御避暑前後より御咽喉病にて昨今御引籠遊ばされ只管御靜養中なりと承はる（東京特電）

●近衛軍の惡戰苦鬪　砲車河中に墜落し篠田一等卒重傷を負ふ

戰機愈々熟したる近衛對第一師團の對抗演習は其後兩軍の行動頗る進展し二十二日兩軍は拂曉より習志野原に進出し飛行機の投下する報告筒に依りて互に動作を開始したるが攻擊軍たる近衛軍は戰利あらず到る處に惡戰苦鬪し一先づ根據地たる四ツ街道に退かんとす近衛軍に屬する野砲第十三聯隊は二十一日夜敵の動靜に依り急遽津賀村方面に向つて進行したるが數日間の雨に道路泥濘一方ならざるのみならず二星古川增水し矢坍橋を通過せんとする際第四中隊三番の砲車一輛は橋の缺に落ちて約七尺の河中に墜落し一等卒篠田莊三郎は砲車諸共眞逆樣に墜落し數個所に重輕傷を負ひたり（東京特電）

●水道貯水池附近に怪しき屍體　釜山府廳の調査

釜山高遠見水源池附近に住める一鮮人二十日虎列拉病に罹りて死亡せし屍體を貯水池收水區域内の松林中に窃かに埋葬したりとの噂さ專らなるより府廳及び釜山警察署は大に驚き若し事實なりとせば危險極まりなく三萬の市民が生命に關する一大事なりとし二十一日午後府廳よりは佐藤事務官、橋本警察署長現場に出張し實地取調べを爲したるが該鮮人は果して虎疫患者なりしか否やは未だ決定せざるも假令虎疫に罹り死亡したるものなりとするも埋葬の場所は收水區域外にあるを以て水道には何等關係することなかるべしと云ふが若し不幸にして噂が事實にして水道に關係することありとせば直に高遠見水源地を閉鎖し聖智谷の新水源地より全市街に配水すべき準備を整へ居たりと云ふ因に橋本署長は二十一日水源地附近在住の鮮人を集め虎疫豫防法并に公衆衛生の輕んずべからざる旨を懇篤講話したりと（釜山）

●香港丸無事に離洲す

二十一日山口縣厚狹郡本山沖に座洲せる商船香港丸は二十二日朝無事離洲し門司に入港せるが船底には何等の異狀なかりしを以て同日午後解纜せり（門司特電）

●錠前を捻切る不敵な二少年　京城市中を荒す

住所不定の金奉擧（一六）同朴觀玉（一五）の兩名は九月中旬頃より共謀して京城明治町二丁目煙草商帶金某方外二十七箇所の内鮮人宅に忍び込み大泥棒を働きたる曲者なるが主として鍾路通りの朝鮮人雜貨店が午後十時過ぎ頃となれば店舖は店仕舞ひをなして店の者は離れたる別の寢室に行き其跡に人なきを見澄まし施しある錠前を捻ぢ切りて侵入し大膽なる仕方にて各戶共同樣手段にて荒し廻りたるものにて其の被害額は數百圓の巨額に達する見込にて目下鍾路警察署にて嚴重取調中

●外人團の親睦會

宣教師スミス氏等の發起にかゝる外人團の日本語研究會にては廿三日午後六時より儆新學校内なるクンス氏方に於て晩餐會を催し語學の練習を行ふ由

●四百圓の拐帶

忠北堤川郡白雲面平洞居住滿口某の雇人熊本縣川尻町生れの加納常吉（二一）は十一月六日主命に依り忠州邑漢湖農銀支店より四百十五圓を受取り之を持ち歸らず乘り來りたる雇主の自轉車にて右の金員を拐帶逃走し目下行衞嚴探中

●仕立物を入質

京城南山町一丁目居住靜岡縣生れの仕立職土屋佐一（二九）は本年四月三十日より十月中旬迄に旭町三丁目佐田某外十一名より仕立直しを依賴されたる衣類十七點（四百七十餘圓）を悉く南山町木村質屋外二軒に數回に百六十七圓に入質したる爲め京城地方法院にて懲役一年の處分となれり

●自轉車攫ひ

埼玉縣北葛飾郡櫻戸町生れ京城黄金町二丁目居住指物職大島德太郎（二五）は拳銃お千代事星千代の情夫なるが十一月十八日午前十一時頃壽町伊藤某方の店頭にて自轉車一臺（三十五圓）を窃取し新町秋本某女に依賴し本町五丁目伊藤質屋に十五圓に入質遊興しゐたる所を本町署に引致されたるが餘罪ある見込にて取調中

●握飯故に

全北高敞郡興德面翰林洞生れ目下住所不定乞食李點童（一二）は何時も井邑郡井邑面市基里の附近を徘徊し居たる者なるが去る十五日も朝より同里の溜池附近を迂路つき居たる際同面水城里の居住理髮業者金致奎の二女金福童（三）が握飯を持ちたるまゝ餘念なく溜池邊りの芝生の上にて遊び居るを見て直ちに同女を捉らへ握り飯を窃まんとしたるも同女が之れを與へざりし結果、遂に同女を裸體となして池中に投げ込み目的の握り飯から衣類まで窃取し逃走したるが一方娘は水深僅か一尺餘に過ぎざる淺瀨の事なりしも何分三歲に滿たぬ幼女の事とて遂に其儘死亡したるが点童は同日午後二時過ぎ同里に於て井邑憲兵分隊の手に捕らへられたり

■全道の初霜、雪、氷

△初霜	本年	比昨年	比平年
忠北丹陽	十月廿四日	晩十日	—
京畿仁川	十月廿六日	早二日	早十二日
全北群山	十一月十一日	晩十五日	—
全南海南	十一月十二日	晩十一日	—
江原江陵	十一月十四日	無早晩	無早晩
△初雪	本年	比昨年	比平年
平北楚山	十一月七日	早晩なし	—
咸南端川	九日	早一日	—
同永興	十一日	早一日	—
平南安州	十二日	晩二日	—
平北雲山	同日	晩二日	—
同熙川	同日	晩二日	—
咸南元山	十五日	晩四日	早一日
慶北青松	十六日	早二日	—
△初氷	本年	比昨年	比平年
咸南端川	十月廿七日	早十六日	—
慶北大邱	十一月十一日	晩十四日	晩十二日
同青松	同日	晩十四日	—
同榮州	同日	晩十四日	—
全北群山	同日	晩十四日	—
忠北淸州	同日	晩十四日	—
江原旌善	同日	早七日	—
同原州	同日	早二日	—
慶北星州	十一月十二日	—	—
忠南瑞山	同日	晩十五日	—
慶南咸陽	十一月十三日	早二日	—
全北錦山	同日	—	—
咸南洪原	同日	—	—
慶北英陽	十一月十四日	—	—
全南靈光	同日	早晩なし	—

●鎮海流行病終熄

本年八月下旬以來鎮海にては窒扶斯患者發生して海軍部内は固より市民は一大恐慌を來しつゝありしが間もなく釜山對州又は沿岸方面より虎疫の襲來を受け爾來市街地は侵入せざりしも各部落に猖獗を極め不安の念に驅られ居たるが昨今に至り氣候と共に同病も屛息し十七日より傳染病離隔病舎に一人の患者を見ざるに至り一般に漸く安堵したり（鎮海）

●主家の金を

大阪市東區常盤町二丁目七十一番地生れ目下平壤府櫻町五昧幸四郎方硝子職西松松次郎（三九）は本年十月二十六日京城府本町六十二番地硝子製造業小野高一郎方に雇はれ中本町二丁目木下藥店に於て主家の金五圓を受取り横領尙同人は本月八日にも前記同樣金十五圓を横領したる廉にて數日前より平壤署の取調を受け居りしが二十日檢事局へ送らる

●創立十週年記念式

府内壽松洞なる私立普成法律商業學校にては同校創立十周年に付二十五日午後一時より同校内に於て記念式を擧行す可し

●官文書僞造犯處罰

愛媛縣越智郡近見村生れ永野作市（三一）は曩に本紙に記載したる如く木浦警察署の官印及び火藥譲渡證書を僞造しダイナマイト三貫目を詐取せんとせし果さゞりし官文書官印僞造及び爆發物取締法違犯事件は二十一日釜山地方法院に於て橋本裁判長より懲役一年に處する旨言渡さる（釜山）

●掻攫ひ捕はる

京城誠洞徐建燮（二七）は本月十八日夜若草町木村某方に約一圓入の錢箱一個を窃取したるを手初めに外十戸にて紙數足袋、洋傘、虎皮等を窃取して鍾路署に檢擧さる

●自轉車專門の泥棒

京城雲泥洞生れの拐盗前科一犯孫奎五（一九）は各官廳、銀行會社等多數の群衆出入の場所にて自轉車專門の泥棒を働き目下鍾路警察署に檢擧せられ取調中なるが既に判明したるもの五臺あり尙餘罪あらん見込なりと

●木村敎雄師歸鄕

西本願寺開敎師總會理事の同氏は二十二日午後七時五十分南大門發列車にて大阪に歸國せりと

●弘安總監出張

開敎院開敎總監弘安師は仁川へ出張せり

筑肥七日見物　一、兩大將斬合の圖

『ふてエ！　貴下くさ、福岡さこざらつしやつてまだ箱崎サ見なさらんト？　ふてエ！　まあ一ごうちやらうかい！』と宿のゴリヨウサン（奧さん）に笑はれて同宿の八兵衞と共に東公園に志す。

博多驛前で電車に　乘らうとすると何れの北電車も滿員の乘客、俺がセッション式の赤迎門の前に立つて『コゲン太か門ばドゲンして建つたもんぢやらうかい』といふと八兵衞は、福岡市の文字のところが薩摩守んことあるぞと笑ふ『サア〳〵大演習記念の錦繪ば買ひまつしエんか』といふから國の土產に買はうかといふと『大將の繪が可かたい』とて井口、大迫兩大將が軍刀を大上段に振りかざしたのを出す、八兵衞は『こいつあイサギエエまか！』とばかり電車に乘る、電車が暫く馳つたかと思ふと八兵衞俄かに方角が違ふ『軍司令官の決心ば變へんなんぞ』と騷ぎ出す『それや、』間八兵衞は箱崎行電車を見付けて呉れた、東公園の松原に差しかゝると

頻りに松原をほめ　松の並樹が急にステテコを踊り出す『東京さんなら持て行けば坪三百圓の代物タイ』と八兵衞はある電車の終點は箱崎である、待合所の前には大きな文字で大變なとかいてある『飛行機天に依る時地に大なる危險あり』とある、八兵衞此の謎を解すと岡へげ俺にも解らんといふ、見れば松原の中には大きな鳥居が見えて海が見える、松の根元には煙艇が兩方から散兵線に展開しとる、八兵衞が先づ官幣大社箱崎八幡宮の方さんへ行かうといふから二人で群集の間に揉まれて行くと赤い玉垣が見ゆる松が見ゆる『此の太い門は文祿年間小早川隆景の建てさしやつたもんですよイ』とのとに楼門を仰ぐと敵國降伏の大文字が見ゆる、八兵衞俄かに跳り上つて伏敵門頭浪天をうつッか、どうか此の景色のよかコツは……と頻りに感嘆する、俺が社殿の奥の方さんの

黄色な簾と神鏡を　拜むで居ると後ろの方から『此て俺の後頭さんへコツンとこさらつしやる、此奴あ痛か〳〵！』と引きさがれば境内には澤山の鳩が居る『見さつしやい、此の鳩ばくさ、日露戰爭の時にや滿洲さん行かつしやつたと、まあありがたか話ぢやあなかがあ』と雛鳩ヶ國のお茶がはなす『オイ〳〵お婆さん此の注連のある大欅な、何んごとか謂れ因縁がござらつしやり相だな』といふとエハカキ屋の婆さん曰く『ござりまつす、此の欅な神功皇后樣が應神天皇樣を產まさつしやつたさきの產湯のあとでござッすたい』『ハ、アなかく太か欅ぢやなあそれぢやあ兩圍が四丈あるかい』といふと婆さん眞面目で『四丈ちやあござりまつせん四丈でござッすたい』とやりこめる、八兵衞と二人で蒙古襲來のエハカキを

奮發して海岸へ出　ると筥崎出雲が能古島のあたりに見えて志賀島も繪のやうである、名物の抱洋閣の潮湯さんへ入浴らうかといふと八兵衞が『ましたもので潮は械鐵の潮も九州の潮も同じ事ちやと威張り出す丸で抱洋閣の何表たろかを知らぬ手合で樂なき樂生である、俺が眼鏡に八幡愚童記を持ち出して何うちや、こゝらあたりに蒙古防戰の跡があり相ちやといふと八兵衞あの石垣は何うちやと水族館を指す、八兵衞は共に語るに足らぬワイと俺が嘆息すると八兵衞大に憤慨して『此の八幡さんより筥崎八幡の方が遙かに偉い』と威張り出すから『ソゲン馬鹿なことば言ひなさんな

日本中の八幡さん　の總本店は此所でござッすタイ』といふと宇佐の八兵衞も一言なし、歸りに日蓮上人と龜山天皇の銅像を拜まうかとすゝめたが八兵衞揃つたる裸にて見らんでもよかとすれる、其の上松林の中の醫科大學を見て感服さこゝろに學校を建てゝ怪しからん博多人は大學敎授よりし松の樹が大切なをを知らんと見ゐるさ　大氣焰をあげた（ヒ）

銘仙はちゝぶや　京城本町　電話八九〇番

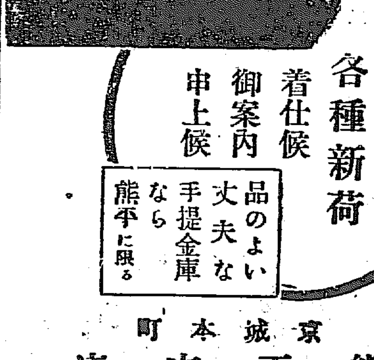
▲一若開演

京右衞門逝き奈良丸歸りて老境に近づける今日東都浪界に於いて若手の奏音家として聲名を揚げ居れる吉田一若は今回浪花館に出演すべく二十一日夜京城に乘込みたるが直ちに二十二日より同館に開演したり

▲戰禍と岩淸水の映寫時間　大正館は第二戰禍並びに新派悲劇岩淸水の二大寫眞にて開演したるが今回は特に舊劇木鼠吉五郎を先きとし午後七時より第二戰禍は八時より岩淸水は十時より映寫する事としたり

▲浪花館　東京落語橘家川柳一座にて開演十五日目二十三日夜の出し物左の如し

▲萬病院（歌當）▲禍の師（都遊）▲犬の目（宮三助）▲うそつき村（しらく）▲天下茶屋（鯉藏）▲大黒屋（橘松）▲百萬撰（歩輔）▲淸正公酒屋（市兵衞）▲香曲天下（服之助）▲お花長屋（川柳）



手提金庫
各種新荷
着仕候
御案內
申上候
品のよい
丈夫な
手提金庫
なら
熊平に限る
京城本町
熊平支店
電話 京城 二二六番
長替 二二四二番

賜天覽　於英伊兩國
第二戰禍
第一戰禍は假想戰なり
第二戰禍は歐洲戰亂の實況
▲舊劇 木鼠吉五郎
入場料普通
大正館
▲現代劇 岩しみづ

各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地
東京パイン萬年筆出張所

近頃市內及び各地方に於て常に弊店の名義を詐稱し塲違ひの粗惡品其他如何はしき商品を賣捌き不當の暴利を貪る者有之候由に付き爾今弊店員には左記の徽章を佩用致させ候間今後御用命の節又は品代金御拂渡しの際等御注意の程偏に奉願上候
京城本町二丁目
寶物大　銀製
ちゝぶや
電話八九〇番

懸賞外交員招聘
一等金側兩蓋鍍付時計　五等高貴織一反
募集に就き　但し歩合及び旅費支給
京城永樂町二丁目　電話二三二五番
日華生命保險株式會社總代理店
德田商會

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

義理責（二の一）

『何ですね、そんな大きな身軀を爲て、泣いて居る所ぢやありや爲ません。お前さんは動もすると、妾が爲さぬ仲の子だから、無理に旋毛を曲げて、片意地な事ばかし言ふやうにお思ひかも知れないがね、決して決してそんな譯ぢやないんですよ。何遍同一事を繰返したつて、同一事は矢張同一事に違ひないんだけれども、阿父さんのお心を考へたり、又妾達の斯うして居る惨めな境遇を思つて見たなら……豈夫にねえ、お前さんだつて、自分の我儘ばかし押通す譯にはゆかないでせう。什うお爲だね絹代、お前さんも、大抵人に口を利かして置くもんだわ。』

一句は一句より烈しく、一語は一語より壓抑的な調子を加へて來ると共に、眉と眉との間に寄せ固めたやうな深い八の字の溝は、蒼白い肌だらけの皺面を、一層陰險に、寧ろ邪惡に變らせて行く一方であつた。

絹代は、その顏を見まいとの心が、先刻來只自分の顏を袂に抑當てた儘、折々微かに束髮の小鬢を顫はすのみであつたが、繼母が最後に言ひ切つた語の餘勢が、餘りに烈しくて、そして餘りに突ツ慳貪であつたので、覺わず悸乎と爲たやうに、面を擡げた。西窓から射すうすら淋しい秋の夕日が、涙に濕つた絹代の半面を斜かけに照らして、淡い白粉剝げの痕に云ひ知れぬ果敢なさを彩つて居た。

絹代は、繼母とは反對に、優しい細面の……割合に眼玉の大きい潤然とした色白の娘であつた。そして何方かと云ふと、頸元の細い、肩巾のこけた丈の暢びりとした質であつた。概括的に見て、神經質な病身らしいいた〳〵しげなる風姿は、一目にもそれと察し得らるゝのであつた。

絹代は、眩しさうに眼を瞬たいて、繼子の前へ出た小羊のやうに、恐る恐る繼母の小膝を視やつた。實は其の顏を視上げやうとして、恐しさに視上げ得なかつたのである。

『ねッ、絹代ッ、お前さん、何とか返答が能きさうなもんだね。必然もう阿父さんが、役所のお歸りがけに彼の方の許へ寄つて、一緒に入ッしやるに違ひないんだよ。その時になつてもまだ、こんなやうに愚圖ッかして御覧、お前さんばかりぢやない、妾までが何の位小叱を言はれるか知れや爲ませんわ。好いんだらうね、絹代。もう後になつてから、左や右言つたつて、妾や知りや爲ませんよ。妾はちゃんと、阿父さんや彼の方に對つて——絹代が快く承知しましたと、斯う立派にお返答を爲ますから然う覺悟してらッしやいよ。』

繼母は、片膝を立て直してぽん〳〵と二ツばかり、羅宇の長い煙管の雁首を火鉢の縁で音さしたが、それが宛然二度と再び變更する事の出來がたい誓ひの合圖でもあるかの如く絹代の耳に響いた。

『阿母さん……ツ。』

絹代は恐しさの中にも、尋常ならぬ慌だしさを帶んだる——その癖、低い幽れたやうな聲で、繼母を呼びかけたのであつた。

『何です？絹ちゃん。』

繼母は、二服目の煙草の烟を鐵瓶の蓋へ吹つかけながら、尻目に絹代を睨んだ。そして、同時に柱時計の針を眺めて『もう彼是四時半だからねえ』と、問わよかしに獨語をつけた。

『……ねえ、阿母さん、後生ですから、もう二日間丈、その方のお返答は『まア、待つて頂きたいんです。』

絹代は、泣かうにも泣かれぬやうな心細い哀れな聲を、無理矢理に咽喉の底から絞り出すやうにして、漸との思ひで斯う言つたのである。

『何ですッて？も一度言つて御覧。お前さん、一體全體、齢は幾歳にお成りなの。十八と云へば、妾なんかもう二度目のお嫁に行つた時ですよ。それもお前さん、只の平民とか小つぽけな商人の家へ行けと言ふんぢやありませんよ。日本に幾人と數へられる華族様のお屋敷へ、御奉公に上れと云ふのに、何が不足で、そんな御嘴面ばかし爲て見せるんです。不孝も好い加減にお爲なさい。』

繼母の激怒は、その面色や聲音ばかりでなく、瞳の奧から電のやうな鋭い光が、切火となつて、ぴか〳〵と絹代の面へ降りかゝつた。

衛生と滋養に富む　人蔘キャラメル
年玉は南大門　名物　六太郎餅　驛前　電話二三六七番

外科　花柳病科　内科　皮膚科
院長　正六位勲四等　島崎龍一
京城旭町一丁目（本派より左に入る）
手術室新設　普通病室　隔離病室
島崎病院　電話二七三六番

十夜吟

短日、大根　浮碧樓
家鴨の頸にのぞかれ短日
短日の日掘ゆ居る二人がかりて
大根干しさげたる額ふるゝ
手ぶら行きもどりの大根畑
○　坡柳
短日縮ぐり押へたる膝
縄ねぢかひたる大根の疵
○　芳草樓
樹肌すべる短日河並に
大根納屋より木へ竿だれ
○　華虹
短日泥かく船ら川下に下る
まだき堀割大根船並び
大根洗ふ足の河砂のくづれ
○　目池
灯の穂長う切大根山なす
薮燒いて屑大根に時雨るゝ
○　鳥堂
雑木鳥鳴く町の日縮まり
家々の短日の透く枳殻垣
馬の口及ぶ大根かぐはし

新刊紹介

▲英語正解法『中編』（佐川春水、山田巖共著）本編は漢文法中最難解なると同時に活用の妙味ありと稱せらるゝ前置詞に就て說明せり依例一語が幾多の場合に於ける一元的意義を探る事に努め一々實例に依て其の直譯を先づ直譯より更に意譯に移るの過程を踏みて懇切に說明せり凡卷頭に索引四十頁を卷末に試驗問題二百題を附錄せり英學者本書に依らば英文中頻接する特殊の要語要句及び文の構造さを會得する得べし敢て推薦す（一圓東京市神田區表神保町建文館）

▲作文講話及文範（芳賀矢一、杉谷代水合編）文學の才は天稟に屬するも千百の講話と實例と體驗なして直ちに練磨たらしむる能はず然れども能く講話を熟讀して文の趣を解し文範を翫賞して文の味を知らば何人も一般の通境に入るべし本書は其の理由に於て好著たるを失はず（東京神田富山房一圓六十錢）

▲書翰文講話及文範（芳賀矢一、杉谷代水合編）作文講話及文範の續編なり容易の如くにして容易ならず輕視せられつゝあるも其實最も人生に必要なる者書翰なり而も書翰の輕視せられつゝあるは何故ぞ由來書翰に就ては古來名文少なく且つ十中八九は淫靡し又秘密となり居るものあり編者は書翰に對する諸點の必要事を詳記し名文を範例として示し一般世人の書翰に對する知識を啓發せんとするを以て各人座右に備へざるべからざる好著なり（東京神田富山房一圓五十錢）

▲新式圍碁寶典『第四編』五段鈴木爲次郎著）著者七年苦心の結晶にして卷を逐ふて益々佳境に入る、本書は戰爭布石打碁の三部より成り各部數圖を以て圍碁の本手筋を說く事平易懇切なり殊に科學的說明法に依りたるを以て修理整然直ちに圍碁の根本要素を會得すべく初學者には無二の指南車たるべし（六十錢東京市日本橋區北鞘町一〇大阪屋）

▲オイケント時代思想（通俗大學文庫第九編）本書の特長とすべきは第二章乃至第六章に於けるオイケンの哲學と現下の思想上の問題との交渉の一部分に關し彼自ら手記せる意見書其他を基礎として其の要を略說せるさ第八章に於ける歐洲大戰勃發以來彼が祖國を擁護せる事實に就て彼の一面を窺知せんとした點に在り猶彼の略傳を附錄す（三十錢東京市京橋區加賀町四通俗大學會）

▲國民皆兵主義（總論、各論の二編に分ち國民皆兵主義の由來內容實行の方法等に就て述べたるもの（十三錢東京市麴町區土手三番町三一黑潮社）

▲現代名家書簡集（富山房編輯部編）書翰文の作例は多き丈け書翰の作法に熟し書翰に興趣を味ふにも殊に現代名家の文例を多讀するを第一とすべし同書の如き好著たるを失はず（東京神田富山房一圓）

▲平凡道德（棟居喜九馬著）理論に走らず單說に泥まず何人と雖も直ちに實行し得べき又實行せざるべからざる日常の所謂『少さき道德』を實行し漸次に大なる道德に進むべき方面を勧告せるものにして猶日々の心得十則を附錄せり盛時代の要求に適合せる好著たるを失はず（二十五錢東京市麴町區三丁目丁未出版社）

▲公星（十一月號）企業界の新現象、經濟的活動革命論、官業整理論、歐洲戰亂の經濟的原因苦痛及び快樂經濟等（十九錢東京市麴町區有樂町共社）

▲實用促成栽培（農業世界定期增刊）促成栽培總說、促成栽培各論、溫室栽培法、溫室栽培各論の五項目に分ち園藝蔬菜促成に就て詳述せり（二十二錢東京市日本橋區博文館）

▲實業之世界（十一月號）記念的事業（三宅博士）知識の高き者と低き者（幸田博士）二輪自轉車を視よ（菅柳有美）及び三百圓から十万圓で小間物店の開業等（十三錢東京市麴町區有樂町一の四共社）

▲青年雄辯（十二月號）賢人政治と民衆政治（小山東助）雄辯家たらんとする道程（島田三郎）讀皿的座談的演說の特質（三宅雪嶺）理想的選舉法改正論（大隈伯爵）等の外婦人より觀たる現代雄辯家としての内務大臣等に關し數氏の說あり其他辯論界便り青年雄辯等（如例）（二十錢東京市牛込區袋町二十五共社）

▲市町村雜誌（十一月號）十錢東京市芝區田村町六共社

▲株式世界（一ノ一四）十錢東京市下谷區清水町一同好會出版部

▲無花果（十一月號）五錢東京市神田區猿樂町四猿山方共社

▲保險新聞（六ノ一八）九錢東京市神田區北神保町共社

▲カット畫案　定價不詳　東京市京橋區長崎町一ノ一二日本文壇

▲發明化學工業界（第四號）電氣化學工業の新傾向、鑛物と化學工業との關係等の外外國特許、內國特許、雜報等如例（十七錢大阪市東區道修町同濟號書房）

▲雄辯（十二月號）社會的進化に於ける危機（ギッヂング）文學に見たる成田不動尊（横山健堂）積極的生活論（小林俊二）德富蘆花物語（奈良無弦）五分間演說の成績發表（編輯局）海賊首長ルーリク（兒玉花外）獄中感（前川一帆）紅家の騎士（大川白雨）地獄極樂（永島尺草）等の外雄辯の研究經驗横論等如例（三十錢東京市本鄉區駒込坂下町四八大日本雄辯會）

新刊書御案内

書名	著者	定價
◎米國研究	教育學術會編	一、〇〇
◎現行法令解說 上下	內閣記錄課編	特二、〇〇
◎債權者の法律顧問	森健堂	特一、八〇
◎新作詩自在 全	井出蘂山	一、六〇
◎最新書翰速成	大町桂月	九〇
◎心靈の現象	藤本友吉	一、三〇
◎國民劍道教範	千葉長作	九五
◎新譯徒然草	與謝野晶子	九五
◎江戸俠客物語	林和	九〇
◎ハイネ評傳	藤浪由之	一、〇〇
◎聲	村井知至	一、三〇
◎實說怪談 國原騷動	太田伯鶴	五五
◎情話叢書 第二編	澤原米子	四五
◎室内及軒下養鷄	中村孤月	三〇
◎大增補 實用ペン習字帖	黑柳勳	三〇
◎最新かるた競技秘訣	池野朗月	三五
◎朝鮮巡査受驗提要	永野清	特四五
◎受驗必携 法律問答	坂上網吉	四〇
◎同 法律講義	同	特七五
◎同 朝鮮行政法大意續編	安達大壽計	四〇
◎同 會話譯文速成	同	四〇
◎內外萬年筆	澤山著荷	自一、〇〇 至一〇、〇〇

京城本町三丁目　振替京城二〇八六番　電話京五三番　大阪屋號書店

蛇印　アンチピリン丸
かぜ　ねつ　最良藥
早く治る藥　よくキク藥
さむけ出で發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時本劑を服せば不思議の效あり（一個十錢、十五錢、廿五錢）にて賣藥店に有之候
大阪　東京　本舗

月やく
月經不順月經困難に基因し常に腰痛み下腹足腰冷へ又は逆上し肩こり頭痛眩暈顏面赤くほてる等にて悩める方は當館多年研鑽の結果完成せし月やく（下し流經劑）を試用あれ本劑の作用の偉效は他藥を用ひ効なく悩める方に卓絶なる速効を奏す類似藥に優越し不思議の效確實
藥價九十錢一圓六十錢二圓廿錢
東京北品川町　日新館製劑部
電話芝四七七八番　振替參貳萬貳番

りん病
消渇で困る方　多年の慢性も
自宅にて人知れず安全秘密に治癒す
良藥わり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

品質優秀　男用　サック
上製十二個三十錢　特別製十個四十錢
五十個一圓三十錢　百個二圓五十錢
女用一個五十錢　郵稅密送料八錢
關西代理店岡山市本町通三丁目
丸尾商會（振替大阪一九〇六四番）

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱なごの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧が如しハガキで申込あれ說明書無代密送す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す
一度實驗せよ效驗卓絶　驚くべき効驗有る專門療法
電話神田七二二番　東京神田かぢ町五　東京　眞空療法研究所

優等清酒

一鶴
京城永樂町二丁目
發賣元　本莊酒店
電話六五四番　振替京城六二〇番

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院
電話一二三七　九二〇九番

日韓書房　新版報告
家庭協會編纂　現代大家　文章と修養　特價二圓　送料十八錢
池邊義象　鎌田榮吉編　校定　源氏物語詳解　定價二圓五十錢　送料廿二錢
羽太鋭治著　應用家庭醫學　定價二圓五十錢　送料廿四錢
村井知至著　聲　定價一圓廿錢　送料十二錢
杉村楚人冠著　弱者の爲に　定價一圓廿錢　送料十二錢
京城本町二丁目　朝鮮振替口座一〇五一番　電話四一五番

內科小兒科　京城旭町一丁目
小林醫院
入院隨意（普通病室並に隔離病室）
醫學士　小林千壽　電話六九二番

くすりは山岸
諸官衙御用達　洋藥賣藥卸問屋　醫療及試驗器械
懇切叮嚀迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前　山岸天佑堂　藥品部　器械部
電話一二〇七　一〇二　振替京城二〇三

昔も　今も
效能で賣れる
七ふく　ひえぐすり
逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す
大日本大阪高津　電南七二九　振替阪九七三
本家七ふくや伊藤長兵衛

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

金泉驛泉間自動車時間
金泉自動車支部　電話四八番
小荷物運搬仕候

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部　大邱出張所　電話一二七番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸　十一月　日後四時出帆
○秀吉丸　十一月廿六日後四時出帆
○君が代丸　十一月廿九日後四時出帆
○神代丸　十一月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　高杉回漕部　電話五十九番

共同汽船仁川出帆
阿波共同丸　十一月廿六日入港　十一月廿九日正午出帆
芝罘、大連行
朝鮮總督府命令航路
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目　野口商會（電話一七三番）
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽行　三河丸　十二月一日正午出帆
○大連、秦皇島行　相模丸　十二月十二日正午出帆
砺砂丸　十二月廿一日正午出帆
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
江原丸　十一月廿八日　仁川發
晉州丸　十一月廿七日　仁川發
全州丸　毎日午前　仁川發
南陽丸
外航路所屬船は五分引を以て運賃割引仕候
群山、木浦、釜山、關門、神阪行
安東丸　十一月廿三日　日後五時出帆
天草丸　十一月三十日
信濃川丸　十二月十三日後二時出帆
木浦、釜山、嚴原、鹿の浦、長崎行
福州丸　十一月廿八日後二時出帆
大智丸　十一月廿五日正午出帆
鎭南浦、門司、神戸、大阪行
群山丸　十一月　日正午出帆
信濃川丸　十二月八日正午出帆
大連直行
潮州丸　十二月十六日正午出帆
鎭南浦大連行
福州丸　十一月廿三日正午出帆
清津、浦潮行（元山出帆）
安平丸　十二月五日後二時出帆
宮島丸
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸　十二月十二日午後四時出帆
湖北丸　十二月十二日午前六時出帆
御注意　京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
立神丸　十一月　日後五時出帆
小倉丸　十一月　日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
立神丸　十一月　日後十時出帆
小倉丸　十一月　日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　十一月　日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　十月廿八日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十□日廿□日午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船
全羅丸　京畿丸　黃海丸　咸鏡丸　十一月・十二月　釜山發
鎭城丸　昌平丸　第二錦旗丸　元山發
忠清丸　平壤丸　元山發
盈德丸　江陵丸　釜山發
三浦丸　釜山發
海州丸　統營丸　巨濟丸　慶興丸　順天丸　木浦發
公州丸　宗信丸　江原丸　麗水丸　仁川發
本社　電話長一九五、二三五、三一番　京城南大門通代理店　松原運送店

商況
大阪三品特電
下關期米特電
仁川期米
▲更に伸び悩む
▲大に賣る
▲能く買ふ
▲大阪新高値